

東日本大震災ボランティアバス参加者を対象とした実態調査結果

<調査実施概要>

調査目的：東日本大震災における災害ボランティア活動をきっかけに、継続した被災地復興支援活動や日常的なボランティア活動につなげるため、どのような働きかけや、活動の支援が求められているか等、市町村社協ボランティアセンター、大阪府ボランティア・市民活動センターの機能・役割を明らかにすることを目的に実施。

調査主体：大阪府社会福祉協議会 大阪府ボランティア・市民活動センター

調査対象：各市町村社協で、平成23年4月～10月の期間に運行されたボランティアバス参加者 1,032人

うち回答 544人（有効回答率 52.7%）

○回答者内訳：男 387人（71.2%）、女 154人（28.3%）

調査期間：平成23年12月12日～12月21日

※調査票の配布にあたっては、ボランティアバスを運行した市町村社協の協力を得た。

ボランティアバス運行社協（運行順）：

大阪市、大阪府、堺市、東大阪市、河内長野市、田尻町、大阪狭山市、和泉市、富田林市、泉佐野市、貝塚市、高槻市・島本町、高石市、吹田市、松原市、阪南市・泉南市・岬町、岸和田市、太子町

問1 性別

N=544

	度数	%
男性	387	71.1
女性	154	28.3
N A	3	0.6

- ・男女比は、ほぼ7：3になっている。
- ・参加募集条件としては現地の作業が不明確であり力仕事が予想されること、旅行行程はかなり強行軍であることを強調し募集などを行っているが、結果女性が3割入ったことはかなりの強い意志があったことが伺える。

問2 年齢

N=544

	度数	%
10歳代	17	3.1
20歳代	91	16.7
30歳代	105	19.3
40歳代	111	20.4
50歳代	95	17.5
60歳代	107	19.7
70歳代	12	2.2
N A	6	1.1

平均値	44.3
中央値	44
最頻値	41
最小値	14
最大値	77

- ・各年齢別では、40歳代が20.4%、次いで60歳代19.7%、30歳代19.3%、50歳代17.5%、20歳代16.7%となっている。
- ・平均年齢は約44歳となっている。

問3 職業

N=544

	度数	%
学生	55	10.1
会社員	115	21.1
公務員	114	21.0
自営業者	43	7.9
パート・アルバイト	43	7.9
派遣社員	5	0.9
無職（家事専業）	28	5.1
無職	90	16.5
その他	44	8.1
N A	7	1.3

- ・職業は、会社員と公務員がそれぞれ約20%、学生が約10%となっており、無職は16.5%となっている。

【学生の内訳】

N=59

	度数	%
高校生	10	16.9
専門学校生	8	13.6
短大生	3	5.1
大学生	35	59.3
大学院生	3	5.1

- ・学生の内訳では、大学生が約60%。次いで高校生が17%となっている。

問4 今回のボランティアバス参加時点までにボランティア活動に参加したことがありますか。

N=544		
	度数	%
ある	293	53.9
ない	247	45.4
N A	4	0.7

- ・ボランティアバス参加時点までのボランティアの参加状況は、あるが約54%、ないが約45%となっており、以前に活動をしている人の方が、10ポイントほど高くなっているため、ボランティア活動経験のある人の方がやや活動に参加しやすいという傾向があるといえる。
- ・以上の問1－4までの関連をクロス表で観てみると次のようになる。
 - ・性別と年齢との関係では、10歳代と30歳代で女性の割合が高くなっている。
男性では、60歳代、70歳代で特に割合が高くなっている。
 - ・性別と職業との関係では、学生、パート・アルバイト、派遣社員、無職（家事専業）において女性の割合が高くなっている。
男性では、公務員、自営業者、無職において割合が高くなっている。
 - ・性別とボランティア活動参加との関係では、やや女性の割合が高くなっている。

上段：度数 下段：%		合計 *縦%	性別	
			男性	女性
全体		544 100.0	387 71.1	154 28.3
年齢	10歳代	17 *3.1	10 58.8	7 41.2
	20歳代	91 *16.7	62 68.1	29 31.9
	30歳代	105 *19.3	65 61.9	40 38.1
	40歳代	111 *20.4	83 74.8	27 24.3
	50歳代	95 *17.5	68 71.6	27 28.4
	60歳代	107 *19.7	84 78.5	22 20.6
	70歳代	12 *2.2	10 83.3	2 16.7
職業	学生	55 *10.1	32 58.2	23 41.8
	会社員	115 *21.1	86 74.8	29 25.2
	公務員	114 *21.0	95 83.3	18 15.8
	自営業者	43 *7.9	38 88.4	5 11.6
	パート・アルバイト	43 *7.9	23 53.5	20 46.5
	派遣社員	5 *0.9	2 40.0	3 60.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	5 17.9	22 78.6
	無職	90 *16.5	74 82.2	16 17.8
	その他	44 *8.1	26 59.1	17 38.6
	参加 経験の	ある	293 *53.9	193 65.9
ない		247 *45.4	190 76.9	57 23.1

- ・年齢と職業との関係では、当然のことながら学生では10歳代、20歳代が大半を占めている。会社員と公務員では、30歳代、40歳代、50歳代の割合が高くなっている。自営業者では、40歳代、50歳代、60歳代の割合が高くなっており、会社員や公務員よりやや年齢層が高くなっている。アルバイトは、20歳代の割合が高く、無職では60歳代の割合が高くなっている。
- ・年齢とボランティア参加経験との関係では、50歳代と60歳代で割合が高くなっている。

上段：度数 下段：%	合計 *縦%	年 齢							
		10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	
全 体	544 100.0	17 3.1	91 16.7	105 19.3	111 20.4	95 17.5	107 19.7	12 2.2	
職 業	学生	55 *10.1	16 29.1	36 65.5	2 3.6	1 1.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	会社員	115 *21.1	0 0.0	14 12.2	39 33.9	29 25.2	25 21.7	8 7.0	0 0.0
	公務員	114 *21.0	0 0.0	11 9.6	27 23.7	34 29.8	30 26.3	10 8.8	0 0.0
	自営業者	43 *7.9	0 0.0	1 2.3	5 11.6	15 34.9	9 20.9	13 30.2	0 0.0
	パート・ アルバイト	43 *7.9	0 0.0	13 30.2	8 18.6	8 18.6	5 11.6	8 18.6	0 0.0
	派遣社員	5 *0.9	0 0.0	1 20.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	0 0.0	1 3.6	4 14.3	2 7.1	5 17.9	14 50.0	1 3.6
	無職	90 *16.5	1 1.1	11 12.2	8 8.9	10 11.1	9 10.0	40 44.4	10 11.1
	その他	44 *8.1	0 0.0	3 6.8	7 15.9	9 20.5	12 27.3	11 25.0	1 2.3
	参 加 活 動 経 験 の	ある	293 *53.9	5 1.7	32 10.9	51 17.4	59 20.1	67 22.9	69 23.5
ない		247 *45.4	12 4.9	58 23.5	54 21.9	51 20.6	28 11.3	36 14.6	3 1.2

- ・ボランティアの参加経験と職業との関係では、学生とアルバイト、派遣社員では、ボランティア経験がない人の割合が高く、今回のボランティアバスへの参加がボランティア活動の最初の経験だという人の割合が高いことになる。
自営業と無職（家事専業）では、ボランティア活動経験者の割合が高くなっている。
会社員や自営業者では、ややボランティア活動者の割合が2～3ポイント高い程度で、ほとんど差は認められない。

上段：度数 下段：%	合計 *縦%	V活動の参加経験		
		ある	ない	
全 体	544 100.0	293 53.9	247 45.4	
職 業	学生	55 *10.1	19 34.5	36 65.5
	会社員	115 *21.1	64 55.7	51 44.3
	公務員	114 *21.0	65 57.0	49 43.0
	自営業者	43 *7.9	26 60.5	17 39.5
	パート・ アルバイト	43 *7.9	20 46.5	23 53.5
	派遣社員	5 *0.9	1 20.0	4 80.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	19 67.9	8 28.6
	無職	90 *16.5	43 47.8	44 48.9
	その他	44 *8.1	31 70.5	13 29.5

問4-① 参加したことがあるボランティア活動の内容

		N=544	
	度数	%	(除NA)
災害救援や被災者支援	160	29.4	(52.8)
まちづくり（美化・防犯・防災など）	83	15.3	(27.4)
社会福祉分野（高齢・障がい・児童やサロン活動など）	120	22.1	(39.6)
保健・医療分野（病院ボランティアなど）	20	3.7	(6.6)
自然保護（地域清掃・里山保全など）	75	13.8	(24.8)
青少年活動（キャンプ・体験活動の支援など）	54	9.9	(17.8)
国際交流・国際協力（通訳・生活支援・交流会など）	42	7.7	(13.9)
スポーツ振興（イベント補助など）	55	10.1	(18.2)
文化（文化保存・伝承に関わる活動など）	23	4.2	(7.6)
募金活動・チャリティバザー	95	17.5	(31.4)
ボランティアを支援する事務的な活動	23	4.2	(7.6)
その他	28	5.1	(9.2)
NA	241	44.3	

- 参加したことがあるボランティア活動の内容では、「災害救援や被災者支援」が最も高く29.4%となっており、次いで「社会福祉分野（高齢・障がい・児童やサロン活動など）」が22.1%、「募金活動・チャリティバザー」が17.5%、「まちづくり（美化・防犯・防災など）」が15.3%、「自然保護（地域清掃・里山保全など）」が13.8%、「スポーツ振興（イベント補助など）」が10.1%となっている。
- 活動内容と性別、年齢、職業とのクロス表は次ページのようにになっている。
 - 性別との関係では、男性は「災害救援や被災者支援」で高い割合となっている。女性では、「社会福祉分野」、「保健・医療分野」、「国際交流・国際協力」、「募金活動・チャリティバザー」で高い割合となっている。
 - 年齢と関係では、「災害被災者支援」においては40歳代から70歳代の割合が高く、特に70歳代の割合が高くなっている。
 「まちづくり」においては、60歳代が最も高く、次いで50歳代、10歳代となっている。
 「社会福祉分野」では、70歳代の割合が突出して高く、次いで50歳代となっており、この他の年齢では平均を下回っている。
 「保健・医療分野」では、全体に数が少ないが、70歳が最も高く、次いで10歳代、60歳代、40歳代となっている。
 「自然保護」では、40歳代から70歳代の割合が高く、特に70歳代の割合が高くなっている。
 「青少年活動」では、50歳代が最も高く、次いで70歳代となっている。
 「国際交流・国際協力」では、平均を上回っているのは50歳代のみとなっている。
 「スポーツ振興」では50歳代、60歳代、70歳代で高くなっている。
 「文化」では、全体に数が少ないが、60歳代と10歳代が平均より高くなっている。
 「募金活動・チャリティバザー」では、70歳代が突出して高く、次いで50歳代、60歳代となっている。
 - 「ボランティアを支援する事務的活動」では、全体に数が少ないが、70歳代の割合が高く、次いで10歳代、50歳代、60歳代となっている。
- 職業との関係では、「災害救援や被災者支援」では、自営業者、公務員、会社員の割合が高くなっている。
 「まちづくり」では、無職（家事専業）、自営業者の割合が高く、「社会福祉分野」では無職（家事専業）とパート・アルバイトの割合が高くなっている。
 この他、全体的には自営業者、無職（家事専業）の割合が高くなっており、時間を自由に使える状況にあるかどうかということがボランティア活動の参加に大きく影響していると推察される。

上段：度数 下段：%	合計 *縦%	災害救 援や被 災者支 援	まちづ くり	社会福 祉分野	保健・ 医療分 野	自然保 護	青少年 活動	国際交 流・国 際協力	スポー ツ振興	文化	募金活 動・チ ャリテ ィバザ ー	ポラン ティア を支援 する事 務的活 動	その他	
全 体	544 100.0	160 29.4	83 15.3	120 22.1	20 3.7	75 13.8	54 9.9	42 7.7	55 10.1	23 4.2	95 17.5	23 4.2	28 5.1	
性別	男性	387 *71.1	126 32.6	58 15.0	65 16.8	10 2.6	58 15.0	37 9.6	19 4.9	42 10.9	19 4.9	59 15.2	15 3.9	16 4.1
	女性	154 *28.3	33 21.4	23 14.9	55 35.7	10 6.5	17 11.0	17 11.0	23 14.9	13 8.4	4 2.6	36 23.4	8 5.2	11 7.1
年 齢	10歳代	17 *3.1	1 5.9	3 17.6	3 17.6	1 5.9	2 11.8	1 5.9	0 0.0	1 5.9	1 0.0	0 5.9	1 5.9	0 0.0
	20歳代	91 *16.7	11 12.1	8 8.8	14 15.4	2 2.2	2 6.6	6 4.4	4 8.8	8 3.3	3 11.0	10 2.2	2 2.2	2 2.2
	30歳代	105 *19.3	23 21.9	7 6.7	21 20.0	3 2.9	9 8.6	7 6.7	9 8.6	8 7.6	1 1.0	17 16.2	2 1.9	3 2.9
	40歳代	111 *20.4	37 33.3	15 13.5	24 21.6	5 4.5	22 19.8	11 9.9	8 7.2	8 7.2	7 6.3	17 15.3	6 5.4	9 8.1
	50歳代	95 *17.5	39 41.1	18 18.9	29 30.5	3 3.2	17 17.9	17 17.9	15 15.8	15 15.8	4 4.2	23 24.2	5 5.3	3 3.2
	60歳代	107 *19.7	43 40.2	29 27.1	21 19.6	5 4.7	20 18.7	10 9.3	6 5.6	13 12.1	7 6.5	22 20.6	4 3.7	9 8.4
	70歳代	12 *2.2	6 50.0	2 16.7	8 66.7	1 8.3	3 25.0	2 16.7	0 0.0	2 16.7	0 0.0	6 50.0	3 25.0	1 8.3
職 業	学生	55 *10.1	4 7.3	7 12.7	9 16.4	1 1.8	3 5.5	4 7.3	3 5.5	4 7.3	3 5.5	6 10.9	2 3.6	2 3.6
	会社員	115 *21.1	35 30.4	11 9.6	27 23.5	4 3.5	13 11.3	16 13.9	9 7.8	9 7.8	3 2.6	18 15.7	5 4.3	3 2.6
	公務員	114 *21.0	43 37.7	15 13.2	15 13.2	0 0.0	20 17.5	9 7.9	7 6.1	13 11.4	3 2.6	17 14.9	2 1.8	5 4.4
	自営業者	43 *7.9	18 41.9	10 23.3	8 18.6	5 11.6	9 20.9	5 11.6	6 14.0	6 14.0	5 11.6	8 18.6	4 9.3	2 4.7
	パート・ アルバイト	43 *7.9	9 20.9	5 11.6	12 27.9	1 2.3	4 9.3	1 2.3	5 11.6	3 7.0	0 0.0	6 14.0	1 2.3	4 9.3
	派遣社員	5 *0.9	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	7 25.0	7 25.0	10 35.7	3 10.7	6 21.4	2 7.1	2 7.1	1 3.6	2 7.1	6 21.4	1 3.6	4 14.3
	無職	90 *16.5	27 30.0	12 13.3	21 23.3	3 3.3	10 11.1	10 11.1	1 1.1	6 6.7	2 2.2	17 18.9	5 5.6	5 5.6
	その他	44 *8.1	13 29.5	13 29.5	17 38.6	3 6.8	9 20.5	6 13.6	8 18.2	10 22.7	4 9.1	15 34.1	2 4.5	1 2.3

問4-② 活動頻度

N=544

	度数	%	(除NA)
週2～3回	18	3.3	(6.1)
週1回程度	38	7.0	(12.8)
月1回程度	72	13.2	(24.3)
半年に1回程度	56	10.3	(18.9)
1年に1回程度	53	9.7	(17.9)
その他	59	10.8	(19.9)
NA	248	45.6	

・活動頻度では、月1回程度が最も高く13.2%、次いで半年に1回程度が10.3%、1年に1回程度が9.7%となっている。

・活動頻度と性別、年齢、職業との関係を観てみると次のようになる。

- ・性別との関係では、女性の方が週2～3回、週1回程度の割合が高くなっている。
- ・年齢との関係では、50歳代から70歳代の高年齢層において、週2～3回程度、週1回程度、月1回程度の割合が高くなっている。
- ・職業との関係では、学生と会社員では月1回程度の割合が最も高く、公務員では月1回程度から1年に1回程度の割合が高くなっている。一方、自営業、パート・アルバイトでは、週1回程度、月1回程度の割合が高く、無職（家事専業）と無職では週2～3回から月1回程度の割合が高くなっている。

上段：度数 下段：%	合計 *縦%	週2～3 回	週1回程 度	月1回程 度	半年に1 回程度	1年に1 回程度	その他	
全 体	544 100.0	18 3.3	38 7.0	72 13.2	56 10.3	53 9.7	59 10.8	
性 別	男性	387 *71.1	10 2.6	20 5.2	53 13.7	41 10.6	36 9.3	39 10.1
	女性	154 *28.3	7 4.5	17 11.0	19 12.3	15 9.7	17 11.0	19 12.3
年 齢	10歳代	17 *3.1	0 0.0	0 0.0	3 17.6	2 11.8	0 0.0	0 0.0
	20歳代	91 *16.7	3 3.3	2 2.2	5 5.5	7 7.7	7 7.7	11 12.1
	30歳代	105 *19.3	0 0.0	4 3.8	7 6.7	16 15.2	16 15.2	9 8.6
	40歳代	111 *20.4	2 1.8	1 0.9	18 16.2	9 8.1	14 12.6	18 16.2
	50歳代	95 *17.5	5 5.3	9 9.5	22 23.2	10 10.5	11 11.6	8 8.4
	60歳代	107 *19.7	7 6.5	17 15.9	15 14.0	11 10.3	5 4.7	12 11.2
	70歳代	12 *2.2	1 8.3	4 33.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	1 8.3
職 業	学生	55 *10.1	2 3.6	2 3.6	6 10.9	5 9.1	4 7.3	1 1.8
	会社員	115 *21.1	1 0.9	3 2.6	18 15.7	9 7.8	13 11.3	19 16.5
	公務員	114 *21.0	0 0.0	3 2.6	15 13.2	14 12.3	14 12.3	17 14.9
	自営業者	43 *7.9	1 2.3	4 9.3	5 11.6	7 16.3	6 14.0	3 7.0
	パート・ アルバイト	43 *7.9	1 2.3	4 9.3	5 11.6	5 11.6	4 9.3	3 7.0
	派遣社員	5 *0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 40.0	2 0.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	3 10.7	7 25.0	4 14.3	2 7.1	1 3.6	3 10.7
	無職	90 *16.5	7 7.8	12 13.3	9 10.0	5 5.6	5 5.6	7 7.8
	その他	44 *8.1	3 6.8	2 4.5	8 18.2	9 20.5	3 6.8	5 11.4

問5 これまで取り組まれてきたボランティア活動について活動を始めた動機は何ですか

N=544

	度数	%	(除NA)
何か社会や地域の役に立ちたいと思ったから	234	43.0	(77.0)
新しい出会い・経験がほしかったから	87	16.0	(28.6)
自分自身の勉強や将来の役に立つと思ったから	122	22.4	(40.1)
その土地、地域に愛着を感じる、または現在住んでいるから	60	11.0	(19.7)
他の人や団体から勧められたから	40	7.4	(13.2)
時間が空いているから	46	8.5	(15.1)
その他	43	7.9	(14.1)
NA	240	44.1	

- ・ボランティア活動を始めた動機については、「何か社会や地域の役に立ちたいと思ったから」が43%、「自分自身の勉強や将来の役に立つと思ったから」が22.4%となっており、社会貢献的な動機の数値が高いものの、自分のためという動機も高いといえる。
- ・ボランティア活動を始めた動機と性別、年齢、職業との関係を観てみると次のようになっている。
 - ・「何か社会や地域の役に立ちたいと思ったから」は、どの属性においても高くなっているが、年齢では50歳代から70歳代で高くなっており、職業では自営業と無職（家事専業）において高くなっている。

上段：度数 下段：%	合計 *縦%	社会や地域の役に立ちたいと思った	新しい出会い・経験がほしかった	自分自身の勉強・役に立つと思った	土地・地域に愛着を感じる	他の人や団体から勧められた	時間が空いている	その他	
全体	544 100.0	234 43.0	87 16.0	122 22.4	60 11.0	40 7.4	46 8.5	43 7.9	
性別	男性	387 *71.1	160 41.3	51 13.2	72 18.6	47 12.1	29 7.5	32 8.3	27 7.0
	女性	154 *28.3	71 46.1	35 22.7	50 32.5	12 7.8	11 7.1	14 9.1	15 9.7
年齢	10歳代	17 *3.1	3 17.6	1 5.9	3 17.6	0 0.0	2 11.8	2 11.8	0 0.0
	20歳代	91 *16.7	19 20.9	14 15.4	22 24.2	4 4.4	10 11.0	3 3.3	1 1.1
	30歳代	105 *19.3	34 32.4	18 17.1	25 23.8	10 9.5	8 7.6	6 5.7	10 9.5
	40歳代	111 *20.4	48 43.2	14 12.6	23 20.7	8 7.2	7 6.3	7 6.3	13 11.7
	50歳代	95 *17.5	54 56.8	20 21.1	26 27.4	19 20.0	5 5.3	7 7.4	7 7.4
	60歳代	107 *19.7	67 62.6	16 15.0	20 18.7	18 16.8	7 6.5	19 17.8	10 9.3
	70歳代	12 *2.2	8 66.7	3 25.0	3 25.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	2 16.7
職業	学生	55 *10.1	11 20.0	12 21.8	14 25.5	2 3.6	4 7.3	4 7.3	0 0.0
	会社員	115 *21.1	46 40.0	19 16.5	23 20.0	4 3.5	13 11.3	2 1.7	9 7.8
	公務員	114 *21.0	47 41.2	14 12.3	22 19.3	16 14.0	6 5.3	9 7.9	13 11.4
	自営業者	43 *7.9	24 55.8	7 16.3	13 30.2	10 23.3	4 9.3	2 4.7	1 2.3
	パート・アルバイト	43 *7.9	15 34.9	7 16.3	10 23.3	4 9.3	2 4.7	4 9.3	4 9.3
	派遣社員	5 *0.9	2 40.0	3 60.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
	無職（家事専業）	28 *5.1	17 60.7	5 17.9	5 17.9	4 14.3	1 3.6	7 25.0	4 14.3
	無職	90 *16.5	41 45.6	13 14.4	15 16.7	10 11.1	3 3.3	12 13.3	6 6.7
	その他	44 *8.1	27 61.4	7 15.9	17 38.6	8 18.2	6 13.6	4 9.1	4 9.1

- ・また、「自分自身の勉強や将来の役に立つと思ったから」では、女性において高くなっており、職業では派遣社員が高くなっている。

問6 ボランティア活動の情報はどのようにして得ますか

N=544

	度数	%	(除NA)
インターネットで調べた	148	27.2	(49.0)
市町村のボランティアセンターから紹介	80	14.7	(26.5)
都道府県のボランティアセンターから紹介	19	3.5	(6.3)
行政から紹介	42	7.7	(13.9)
活動団体から直接情報提供があった	81	14.9	(26.8)
家族から聞く	20	3.7	(6.6)
友人・知人に聞く	87	16.0	(28.8)
テレビ	15	2.8	(5.0)
ラジオ	13	2.4	(4.3)
新聞	67	12.3	(22.2)
行政・社協などの広報誌	97	17.8	(32.1)
メールマガジン	5	0.9	(1.7)
その他	21	3.9	(7.0)
NA	242	44.5	

- ・ボランティア活動の情報の入手方法については、インターネットが27.2%と最も高く、次いで行政・社協などの広報誌が17.8%、活動団体からの直接情報提供が14.9%、ボランティアセンターからの紹介が14.7%となっている。

【インターネットの内訳】

N=148

	度数	%
ブログ	7	4.7
ツイッター	3	2.0
ミクシー	4	2.7
フェイスブック	4	2.7
社会福祉協議会のホームページ	85	57.4
ボランティア支援団体のホームページ	55	37.2
その他	17	11.5

- ・インターネットの内訳では、「社協のホームページ」が57.4%と最も高く、次いで「ボランティア支援団体ホームページ」が37.2%となっている。
- ・ボランティア活動の情報の入手方法およびインターネットの内訳と性別、年齢、職業との関係を観てみると次のようになっている。
 - ・「インターネット」では、女性の割合が高く、年齢では30歳代から60歳代で高く、職業では公務員と派遣社員で高くなっている。
 - ・「市町村ボランティアセンター」では、年齢では50歳代から70歳代で高く（人数は少ないが70歳代で特に高く）、職業では無職（家事専業）で高くなっている。
 - ・「行政」では、男性の割合が高く、年齢は50歳代、職業では公務員で高くなっている。
 - ・「活動団体」では、女性の割合が高く、年齢では60歳代と70歳代で高く、職業では自営業者が高くなっている。
 - ・「新聞」では、女性の割合が高く、年齢では60歳代、職業では派遣社員と無職（家事専業）において高くなっている。
 - ・「行政・社協などの広報誌」では、50歳代から70歳代で高く、職業ではパート・アルバイトと派遣社員で高くなっている。

上段：度数 下段：%		合計 *縦%	インタ ーネット	市町村 のボラ ンティ アセン ター	都道府 県のボ ランテ ィアセ ンター	行政	活動団 体	家族	友人・ 知人	テレビ	ラジオ	新聞	行政・ 社協な どの広 報誌	メール マガジ ン	その他
全 体		544 100.0	148 27.2	80 14.7	19 3.5	42 7.7	81 14.9	20 3.7	87 16.0	15 2.8	13 2.4	67 12.3	97 17.8	5 0.9	21 3.9
性別	男性	387 *71.1	98 25.3	59 15.2	14 3.6	35 9.0	54 14.0	12 3.1	58 15.0	10 2.6	11 2.8	44 11.4	55 14.2	2 0.5	13 3.4
	女性	154 *28.3	48 31.2	21 13.6	5 3.2	7 4.5	27 17.5	8 5.2	28 18.2	5 3.2	2 1.3	23 14.9	41 26.6	3 1.9	8 5.2
年 齢	10歳代	17 *3.1	1 5.9	2 11.8	0 0.0	0 0.0	2 11.8	2 11.8	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	1 5.9
	20歳代	91 *16.7	17 18.7	5 5.5	2 2.2	3 3.3	9 9.9	4 4.4	13 14.3	0 0.0	0 0.0	4 4.4	9 9.9	0 0.0	2 2.2
	30歳代	105 *19.3	31 29.5	5 4.8	0 0.0	6 5.7	8 7.6	6 5.7	17 16.2	2 1.9	1 1.0	14 13.3	13 12.4	1 1.0	4 3.8
	40歳代	111 *20.4	35 31.5	16 14.4	3 2.7	10 9.0	17 15.3	3 2.7	17 15.3	4 3.6	1 0.9	12 10.8	15 13.5	3 2.7	5 4.5
	50歳代	95 *17.5	32 33.7	21 22.1	4 4.2	14 14.7	17 17.9	4 4.2	23 24.2	5 5.3	4 4.2	13 13.7	22 23.2	1 1.1	3 3.2
	60歳代	107 *19.7	31 29.0	24 22.4	9 8.4	8 7.5	23 21.5	1 0.9	15 14.0	4 3.7	7 6.5	24 22.4	33 30.8	0 0.0	4 3.7
	70歳代	12 *2.2	1 8.3	7 58.3	1 8.3	1 8.3	5 41.7	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	0 0.0	2 16.7
職 業	学生	55 *10.1	9 16.4	6 10.9	0 0.0	1 1.8	6 10.9	5 9.1	9 16.4	0 0.0	0 0.0	2 3.6	4 7.3	0 0.0	3 5.5
	会社員	115 *21.1	36 31.3	9 7.8	4 3.5	6 5.2	13 11.3	5 4.3	20 17.4	3 2.6	2 1.7	17 14.8	21 18.3	1 0.9	3 2.6
	公務員	114 *21.0	29 25.4	14 12.3	2 1.8	19 16.7	15 13.2	5 4.4	22 19.3	3 2.6	2 1.8	10 8.8	19 16.7	0 0.0	6 5.3
	自営業者	43 *7.9	12 27.9	8 18.6	3 7.0	3 7.0	10 23.3	1 2.3	10 23.3	1 2.3	3 7.0	7 16.3	7 16.3	2 4.7	1 2.3
	パート・ アルバイト	43 *7.9	13 30.2	6 14.0	1 2.3	1 2.3	4 9.3	1 2.3	6 14.0	0 0.0	0 0.0	3 7.0	11 25.6	1 2.3	0 0.0
	派遣社員	5 *0.9	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	8 28.6	7 25.0	2 7.1	2 7.1	5 17.9	0 0.0	4 14.3	3 10.7	1 3.6	6 21.4	5 17.9	0 0.0	1 3.6
	無職	90 *16.5	20 22.2	19 21.1	4 4.4	4 4.4	14 15.6	3 3.3	6 6.7	3 3.3	4 4.4	11 12.2	18 20.0	0 0.0	3 3.3
	その他	44 *8.1	15 34.1	10 22.7	2 4.5	6 13.6	13 29.5	0 0.0	10 22.7	2 4.5	1 2.3	8 18.2	9 20.5	1 2.3	3 6.8

問7 普段どのような方法でボランティアに参加する時間をつくっていますか

N=544		
	度数	% (除NA)
学校や仕事を休んで（欠席・有給休暇含む）	66	12.1 (22.2)
土日や祝日など休みを利用	126	23.2 (42.4)
長期休暇を利用	26	4.8 (8.8)
空いた時間を利用	159	29.2 (53.5)
その他	21	3.9 (7.1)
NA	247	45.4

- ・ボランティアに参加する時間の確保方法については、「空いた時間を利用」が29.2%、「土日や祝日など休みを利用」が23.2%となっている。
- ・ボランティアに参加する時間の確保方法と性別、年齢、職業との関係を観てみると次のようになっている。
 - ・性別では、女性において「空いた時間を利用」の割合が高くなっている。

- ・年齢では、10歳代、20歳代では「空いた時間を利用」の割合が高くなっている。30歳代から50歳代では「土日や祝日などの休みを利用」の割合が高く、50歳代から50歳代では「空いた時間を利用」の割合が高くなっている。
- ・職業では、学生と自営業者、パート・アルバイト、派遣社員、無職（家事専業）、無職では、「空いた時間を利用」の割合が高く、会社員と公務員では「土日や祝日などの休みを利用」の割合が高くなっている。

上段：度数 下段：%		合計 *＝縦%	学校や仕事を休んで	土日や祝日など休みを利用	長期休暇を利用	空いた時間を利用	その他
全 体		544 100.0	66 12.1	126 23.2	26 4.8	159 29.2	21 3.9
性別	男性	387 *71.1	48 12.4	88 22.7	12 3.1	98 25.3	16 4.1
	女性	154 *28.3	17 11.0	38 24.7	14 9.1	59 38.3	5 3.2
年 齢	10歳代	17 *3.1	0 0.0	2 11.8	1 5.9	3 17.6	0 0.0
	20歳代	91 *16.7	3 3.3	15 16.5	6 6.6	19 20.9	2 2.2
	30歳代	105 *19.3	14 13.3	24 22.9	5 4.8	22 21.0	1 1.0
	40歳代	111 *20.4	17 15.3	30 27.0	4 3.6	28 25.2	2 1.8
	50歳代	95 *17.5	19 20.0	42 44.2	9 9.5	33 34.7	2 2.1
	60歳代	107 *19.7	13 12.1	12 11.2	1 0.9	46 43.0	11 10.3
	70歳代	12 *2.2	0 0.0	1 8.3	0 0.0	7 58.3	3 25.0
職 業	学生	55 *10.1	0 0.0	8 14.5	5 9.1	12 21.8	0 0.0
	会社員	115 *21.1	26 22.6	35 30.4	7 6.1	18 15.7	1 0.9
	公務員	114 *21.0	16 14.0	44 38.6	6 5.3	21 18.4	2 1.8
	自営業者	43 *7.9	7 16.3	8 18.6	1 2.3	12 27.9	3 7.0
	パート・アルバイト	43 *7.9	8 18.6	8 18.6	2 4.7	14 32.6	1 2.3
	派遣社員	5 *0.9	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	0 0.0	1 3.6	0 0.0	20 71.4	1 3.6
	無職	90 *16.5	1 1.1	5 5.6	2 2.2	39 43.3	8 8.9
	その他	44 *8.1	6 13.6	15 34.1	2 4.5	18 40.9	5 11.4

問 8 ボランティアバスを企画した社会福祉協議会についてどの程度知っていましたか

N=544

	度数	%
全く知らなかった	166	30.5
名前は知っていた	151	27.8
知っていた	147	27.0
社協活動に携わっていた	72	13.2
N A	8	1.5

- ・社協の認知度は、「名前は知っていた」が最も多く27.8%で最も多く、次いで「知っていた」が27%で、「携わっていた」の13.2%となっており、両者をあわせて約4割となっている。
- ・社協の認知度と性別、年齢、職業、そしてボランティアの参加頻度との関係を観てみると次のようになっている。
 - ・性別では、「知っていた」割合は男性の方が高く、「社協活動に携わっていた」では女性の方の割合が高くなっている。

上段：度数 下段：%	合計 *縦%	全く知ら なかった	名前は知 っていた	知ってい た	社協活動 に携わっ ていた	
全 体	544 100.0	166 30.5	151 27.8	147 27.0	72 13.2	
性別	男性	387 *71.1	117 30.2	108 27.9	113 29.2	44 11.4
	女性	154 *28.3	48 31.2	43 27.9	33 21.4	27 17.5
年 齢	10歳代	17 *3.1	11 64.7	4 23.5	2 11.8	0 0.0
	20歳代	91 *16.7	49 53.8	28 30.8	9 9.9	4 4.4
	30歳代	105 *19.3	40 38.1	28 26.7	24 22.9	9 8.6
	40歳代	111 *20.4	31 27.9	30 27.0	34 30.6	15 13.5
	50歳代	95 *17.5	14 14.7	26 27.4	34 35.8	20 21.1
	60歳代	107 *19.7	19 17.8	32 29.9	38 35.5	17 15.9
	70歳代	12 *2.2	1 8.3	1 8.3	3 25.0	7 58.3
職 業	学生	55 *10.1	34 61.8	17 30.9	3 5.5	0 0.0
	会社員	115 *21.1	38 33.0	34 29.6	27 23.5	15 13.0
	公務員	114 *21.0	20 17.5	31 27.2	41 36.0	19 16.7
	自営業者	43 *7.9	14 32.6	10 23.3	13 30.2	6 14.0
	パート・ アルバイト	43 *7.9	16 37.2	15 34.9	9 20.9	3 7.0
	派遣社員	5 *0.9	3 60.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	4 14.3	11 39.3	9 32.1	3 10.7
	無職	90 *16.5	27 30.0	22 24.4	28 31.1	12 13.3
	その他	44 *8.1	10 22.7	7 15.9	14 31.8	12 27.3
	参 V 加 活 経 動 験 の	ある	293 *53.9	63 21.5	78 26.6	95 32.4
ない		247 *45.4	101 40.9	73 29.6	50 20.2	18 7.3

- ・年齢では、10歳代、20歳代、30歳代と若い年齢では「全く知らなかった」との回答の割合が高く、40歳代、50歳代、60歳では「知っていた」の割合が高く、70歳では「社協活動に携わっていた」の割合が高くなっている。
- ・職業では、学生と会社員、自営業者、パート・アルバイト、派遣社員で「全く知らなかった」の割合が高くなっている。公務員、無職（家事専業）では、「知っていた」の割合が高く、自営業者と無職では「全く知らなかった」の割合も高いものの「知っていた」の割合も同程度となっている。
- ・ボランティア活動の参加経験では、「ある」では「知っていた」の割合が高く、「ない」では「全く知らなかった」の割合が高くなっている。

問9 被災地ボランティア活動に参加しようとした動機は何ですか

N=544

	度数	%
何か役に立ちたいと思ったから	483	88.8
募集されていることを知ったから	255	46.9
新しい出会い・経験がほしかったから	70	12.9
マスコミの報道に刺激されたから	47	8.6
自分自身の勉強になる・将来の役に立つと思ったから	200	36.8
その土地、現地に愛着があったから	24	4.4
以前住んでいたから	9	1.7
被災地に親類、友人、知人がいるから	35	6.4
資格をいかした活動がしたかったから	13	2.4
他の人や団体から勧められたから	26	4.8
時間が空いていたから	78	14.3
その他	66	12.1
NA	6	1.1

- ・被災地ボランティアに参加しようと思った動機は、「何か役に立ちたいと思ったから」が約90%で、「自分自身の勉強になる・将来の役に立つと思ったから」も37%となっている。
- ・被災地ボランティア活動に参加しようとした動機と性別、年齢、職業、そしてボランティアの参加頻度とのクロス表は次ページのようにになっている。
 - ・「何か役に立ちたいと思ったから」では、年齢では10歳代、40歳代、70歳代で高くなっており、職業では学生、会社員、自営業者、派遣社員、無職（家事専業）で高くなっている。「自分自身の勉強になる・将来の役に立つと思ったから」では、年齢では10歳代、20歳代で高く、職業では学生と派遣社員で高くなっている。

上段：度数 下段：%	合計 *＝縦%	何か役 に立ち たいと 思った	募集さ れている ことを 知った	新しい 出会い ・経験 がほし かった	マスコ ミの報 道に刺 激され た	自分自 身の勉 強・役 に立つ と思っ た	その土 地、現 地に愛 着があ った	以前住 んでい た	被災地 に親類 ・友人 ・知人 がいる	資格を いかし た活動 がした かった	他の人 や団体 から勤 められ た	時間が 空いて いた	その他	
全 体	544 100.0	483 88.8	255 46.9	70 12.9	47 8.6	200 36.8	24 4.4	9 1.7	35 6.4	13 2.4	26 4.8	78 14.3	66 12.1	
性別	男性	387 *71.1	342 88.4	193 49.9	53 13.7	26 6.7	150 38.8	16 4.1	5 1.3	22 5.7	5 1.3	22 5.7	52 13.4	48 12.4
	女性	154 *28.3	138 89.6	60 39.0	17 11.0	21 13.6	50 32.5	8 5.2	4 2.6	13 8.4	8 5.2	4 2.6	26 16.9	17 11.0
年 齢	10歳代	17 *3.1	16 94.1	5 29.4	0 0.0	3 17.6	9 52.9	1 5.9	1 5.9	2 11.8	0 0.0	3 17.6	1 5.9	0 0.0
	20歳代	91 *16.7	81 89.0	29 31.9	20 22.0	8 8.8	65 71.4	1 1.1	0 0.0	4 4.4	1 1.1	6 6.6	11 12.1	8 8.8
	30歳代	105 *19.3	89 84.8	33 31.4	13 12.4	7 6.7	32 30.5	8 7.6	1 1.0	9 8.6	1 1.0	10 9.5	18 17.1	13 12.4
	40歳代	111 *20.4	103 92.8	55 49.5	10 9.0	11 9.9	29 26.1	3 2.7	2 1.8	8 7.2	2 1.8	1 0.9	9 8.1	14 12.6
	50歳代	95 *17.5	84 88.4	55 57.9	8 8.4	4 4.2	31 32.6	3 3.2	1 1.1	4 4.2	6 6.3	4 4.2	12 12.6	10 10.5
	60歳代	107 *19.7	92 86.0	68 63.6	14 13.1	11 10.3	29 27.1	6 5.6	4 3.7	6 5.6	3 2.8	1 0.9	24 22.4	21 19.6
	70歳代	12 *2.2	12 100.0	6 50.0	4 33.3	3 25.0	3 25.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	0 0.0	1 8.3	3 25.0	0 0.0
職 業	学生	55 *10.1	51 92.7	17 30.9	9 16.4	4 7.3	39 70.9	1 1.8	2 3.6	4 7.3	1 1.8	5 9.1	3 5.5	3 5.5
	会社員	115 *21.1	105 91.3	40 34.8	12 10.4	9 7.8	36 31.3	5 4.3	2 1.7	9 7.8	2 1.7	7 6.1	6 5.2	8 7.0
	公務員	114 *21.0	97 85.1	57 50.0	16 14.0	7 6.1	50 43.9	2 1.8	0 0.0	5 4.4	2 1.8	9 7.9	8 7.0	16 14.0
	自営業者	43 *7.9	39 90.7	24 55.8	3 7.0	5 11.6	16 37.2	0 0.0	1 2.3	1 2.3	2 4.7	1 2.3	1 2.3	8 18.6
	パート・ アルバイト	43 *7.9	36 83.7	19 44.2	8 18.6	6 14.0	12 27.9	5 11.6	1 2.3	4 9.3	2 4.7	1 2.3	10 23.3	5 11.6
	派遣社員	5 *0.9	5 100.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	3 60.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	26 92.9	17 60.7	2 7.1	4 14.3	6 21.4	2 7.1	1 3.6	2 7.1	0 0.0	0 0.0	11 39.3	3 10.7
	無職	90 *16.5	79 87.8	47 52.2	10 11.1	10 11.1	21 23.3	7 7.8	2 2.2	9 10.0	2 2.2	1 1.1	33 36.7	13 14.4
	その他	44 *8.1	39 88.6	27 61.4	7 15.9	2 4.5	14 31.8	2 4.5	0 0.0	0 0.0	2 4.5	2 4.5	2 4.5	9 20.5
参 加 活 動 経 験 の	ある	293 *53.9	259 88.4	135 46.1	40 13.7	23 7.8	105 35.8	10 3.4	3 1.0	19 6.5	10 3.4	16 5.5	40 13.7	39 13.3
	ない	247 *45.4	220 89.1	119 48.2	29 11.7	24 9.7	94 38.1	13 5.3	6 2.4	15 6.1	2 0.8	10 4.0	37 15.0	27 10.9

問10 今回のボランティアバスの情報はどのようにして得ましたか

N=544

	度数	%
インターネットで調べた	235	43.2
市町村のボランティアセンターから紹介	86	15.8
都道府県のボランティアセンターから紹介	14	2.6
行政から紹介	58	10.7
活動団体から直接情報提供があった	26	4.8
家族から聞く	63	11.6
友人・知人に聞く	21	3.9
テレビ	16	2.9
ラジオ	68	12.5
新聞	115	21.1
行政・社協などの広報誌	0	0.0
メールマガジン	49	9.0
NA	11	2.0

- ・ボランティアバス情報の入手については、「インターネットで調べた」が43.2%と最も高く、次いで「新聞」が21.1%となっている。問6との違いとしてはこの「新聞」の割合が高くなっている点である。また、「市町村のボランティアセンターからの紹介」も15.8%となっており、「行政からの紹介」が10.7%となっている。

【インターネットの内訳】

N=235

	度数	%
ブログ	5	2.1
ツイッター	0	0.0
ミクシー	4	1.7
フェイスブック	1	0.4
社会福祉協議会のホームページ	163	69.4
ボランティア支援団体のホームページ	57	24.3
その他	19	8.1

- ・インターネットの内訳では、「社協のホームページ」の割合が最も高く69.4%になっており、次いで「ボランティア支援団体のホームページ」が24.3%になっている。
- ・ボランティアバスの情報源と性別、年齢、職業、そしてボランティアの参加頻度との関係を観てみると次のようになっている。
 - ・「インターネット」では、年齢では20歳代から40歳代でやや高く、職業ではパート・アルバイトと自営業者で高くなっている。
 - ・「市町村ボランティアセンター」では、年齢では50歳代と70歳代で高く（人数は少ないが70歳代で高く）、職業では無職で高くなっている。
 - ・「行政」では、男性の割合が高く、年齢は70歳代、職業では公務員で高くなっている。
 - ・「活動団体から直接情報提供」では、年齢では10歳代で高く、職業では学生で高くなっている。
 - ・「新聞」では、女性の割合が高く、年齢では50歳代から70歳代で高くなっている。
 - ・また、ボランティア活動の参加経験「あり」の人では、「インターネット」が高く、「新聞」、
「市町村ボランティアセンター」の項目が高くなっている。

上段：度数 下段：%		合計 *縦%	インタ ーネット	市町村 のボラ ンティア アセン ター	都道府 県のボ ランテ ィアセ ンター	行政	活動団 体から 直接情 報提供	家族	友人・ 知人	テレビ	ラジオ	新聞	行政・ 社協な どの広 報誌	メール マガジ ン
全 体		544 100.0	235 43.2	86 15.8	14 2.6	58 10.7	26 4.8	63 11.6	21 3.9	16 2.9	68 12.5	115 21.1	0 0.0	49 9.0
性別	男性	387 *71.1	166 42.9	67 17.3	11 2.8	50 12.9	21 5.4	45 11.6	13 3.4	13 3.4	50 12.9	83 21.4	0 0.0	30 7.8
	女性	154 *28.3	68 44.2	19 12.3	3 1.9	8 5.2	5 3.2	17 11.0	8 5.2	3 1.9	17 11.0	31 20.1	0 0.0	19 12.3
年 齢	10歳代	17 *3.1	4 23.5	2 11.8	0 0.0	0 0.0	6 35.3	1 5.9	1 5.9	0 0.0	2 11.8	4 23.5	0 0.0	3 17.6
	20歳代	91 *16.7	44 48.4	10 11.0	0 0.0	9 9.9	9 9.9	9 9.9	0 0.0	2 2.2	7 7.7	13 14.3	0 0.0	9 9.9
	30歳代	105 *19.3	49 46.7	7 6.7	2 1.9	12 11.4	4 3.8	15 14.3	8 7.6	1 1.0	11 10.5	14 13.3	0 0.0	11 10.5
	40歳代	111 *20.4	54 48.6	16 14.4	1 0.9	14 12.6	4 3.6	18 16.2	5 4.5	3 2.7	10 9.0	15 13.5	0 0.0	9 8.1
	50歳代	95 *17.5	36 37.9	27 28.4	4 4.2	10 10.5	2 2.1	10 10.5	1 1.1	1 1.1	13 13.7	26 27.4	0 0.0	6 6.3
	60歳代	107 *19.7	40 37.4	20 18.7	6 5.6	11 10.3	1 0.9	9 8.4	6 5.6	9 8.4	25 23.4	36 33.6	0 0.0	10 9.3
	70歳代	12 *2.2	5 41.7	4 33.3	1 8.3	2 16.7	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 33.3	4 0.0	1 8.3
職 業	学生	55 *10.1	24 43.6	8 14.5	0 0.0	1 1.8	12 21.8	6 10.9	1 1.8	0 0.0	6 10.9	4 7.3	0 0.0	6 10.9
	会社員	115 *21.1	52 45.2	16 13.9	3 2.6	9 7.8	4 3.5	9 7.8	2 1.7	3 2.6	12 10.4	24 20.9	0 0.0	16 13.9
	公務員	114 *21.0	40 35.1	18 15.8	2 1.8	29 25.4	1 0.9	23 20.2	1 0.9	1 0.9	10 8.8	25 21.9	0 0.0	6 5.3
	自営業者	43 *7.9	24 55.8	6 14.0	2 4.7	2 4.7	2 4.7	8 18.6	2 4.7	4 9.3	3 7.0	9 20.9	0 0.0	1 2.3
	パート・ アルバイト	43 *7.9	30 69.8	5 11.6	0 0.0	0 0.0	1 2.3	3 7.0	3 7.0	1 2.3	6 14.0	6 14.0	0 0.0	2 4.7
	派遣社員	5 *0.9	2 40.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	11 39.3	3 10.7	3 10.7	3 10.7	0 0.0	2 7.1	2 7.1	1 3.6	6 21.4	9 32.1	0 0.0	1 3.6
	無職	90 *16.5	37 41.1	18 20.0	2 2.2	8 8.9	6 6.7	4 4.4	9 10.0	5 5.6	17 18.9	22 24.4	0 0.0	11 12.2
	その他	44 *8.1	10 22.7	11 25.0	2 4.5	5 11.4	0 0.0	6 13.6	0 0.0	1 2.3	6 13.6	15 34.1	0 0.0	6 13.6
	参 加 活 動 の 経 験	ある	293 *53.9	126 43.0	64 21.8	10 3.4	32 10.9	13 4.4	41 14.0	9 3.1	8 2.7	39 13.3	67 22.9	0 0.0
ない		247 *45.4	108 43.7	22 8.9	3 1.2	24 9.7	11 4.5	22 8.9	11 4.5	8 3.2	29 11.7	47 19.0	0 0.0	20 8.1

問 1 1 どのような方法で今回のボランティアに参加する時間を作りましたか

N=544		
	度数	%
ボランティア休暇を利用した	54	9.9
特別に出勤・公欠扱い（または単位認定）になった	23	4.2
学校や仕事を休んで（欠席・有給休暇含む）	131	24.1
土日や祝日など休みを利用した	100	18.4
長期休暇を利用した	41	7.5
空いた時間を利用した	172	31.6
その他	41	7.5
N A	10	1.8

- ・災害ボランティアに参加するための時間の確保方法では、「空いた時間を利用して」が31.6%で最も多く、「学校や仕事を休んで」が24.1%となっている。「ボランティア休暇」は約10%、「公欠扱

い、単位認定等」は4.2%となっている。

- ・今回のボランティア参加時間の確保方法と性別、年齢、職業、そしてボランティアの参加頻度との関係は次ページのクロス表のようになっている。
- ・「ボランティア休暇を利用」では、男性の割合が高く、年齢では30歳代から50歳代、職業では公務員で高くなっている。
- ・「特別に出勤・公欠扱い・単位認定」では、年齢では10歳代と30歳代、職業では会社員で高くなっている。
- ・「学校や仕事を休んで」では、年齢では30歳代から50歳代、職業では会社員、自営業者、パート・アルバイトで高くなっている。
- ・「土日や祝日、休みを利用して」では、年齢では10歳代、40歳代、50歳代、職業では公務員と会社員で高くなっている。
- ・「長期休暇を利用」では、年齢では10歳代、職業では学生で高くなっている。
- ・「空いた時間を利用」では、年齢では60歳代と70歳代で高く、職業では無職（家事専業）と無職で顕著に高く、パート・アルバイトと派遣社員でも高くなっている。

上段：度数 下段：%	合計 *縦%	ボラン ティア休 暇を 利用	特別に出 勤・公欠 扱い・単 位認定	学校や仕 事を休ん で	土日や祝 日など休 みを利用	長期休暇 を利用	空いた時 間を利用	その他	
全 体	544 100.0	54 9.9	23 4.2	131 24.1	100 18.4	41 7.5	172 31.6	41 7.5	
性 別	男性	387 *71.1	44 11.4	18 4.7	94 24.3	73 18.9	21 5.4	118 30.5	34 8.8
	女性	154 *28.3	9 5.8	5 3.2	37 24.0	27 17.5	20 13.0	53 34.4	6 3.9
年 齢	10歳代	17 *3.1	0 0.0	2 11.8	2 11.8	5 29.4	6 35.3	3 17.6	0 0.0
	20歳代	91 *16.7	4 4.4	3 3.3	20 22.0	15 16.5	15 16.5	31 34.1	3 3.3
	30歳代	105 *19.3	16 15.2	10 9.5	30 28.6	15 14.3	7 6.7	21 20.0	5 4.8
	40歳代	111 *20.4	17 15.3	4 3.6	30 27.0	28 25.2	7 6.3	25 22.5	8 7.2
	50歳代	95 *17.5	13 13.7	3 3.2	28 29.5	27 28.4	4 4.2	23 24.2	8 8.4
	60歳代	107 *19.7	3 2.8	1 0.9	19 17.8	8 7.5	2 1.9	60 56.1	14 13.1
	70歳代	12 *2.2	0 0.0	0 0.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	0 58.3	2 16.7
職 業	学生	55 *10.1	0 0.0	2 3.6	10 18.2	12 21.8	18 32.7	13 23.6	1 1.8
	会社員	115 *21.1	12 10.4	13 11.3	49 42.6	30 26.1	8 7.0	9 7.8	2 1.7
	公務員	114 *21.0	40 35.1	5 4.4	25 21.9	39 34.2	6 5.3	1 0.9	6 5.3
	自営業者	43 *7.9	0 0.0	0 0.0	13 30.2	7 16.3	2 4.7	14 32.6	8 18.6
	パート・ アルバイト	43 *7.9	1 2.3	0 0.0	15 34.9	3 7.0	4 9.3	18 41.9	2 4.7
	派遣社員	5 *0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	26 92.9	1 3.6
	無職	90 *16.5	0 0.0	0 0.0	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 80.0	15 16.7
	その他	44 *8.1	0 0.0	3 6.8	17 38.6	6 13.6	1 2.3	14 31.8	4 9.1
	参 加 活 動 の 経 験	ある	293 *53.9	30 10.2	8 2.7	76 25.9	61 20.8	24 8.2	85 29.0
ない		247 *45.4	24 9.7	15 6.1	55 22.3	39 15.8	17 6.9	83 33.6	16 6.5

【ボランティア休暇・公欠扱いの理由】

N=77

	度数	%
普段から会社・学校から制度利用の奨励や紹介があった	16	2.9
今回特別に会社・学校から制度利用が認められた	25	32.5
制度があることを知っていたので利用した	34	44.2
その他	5	6.5

- ・ ボランティア休暇・公欠扱いを選んだ理由としては、「制度があることを知っていたので利用した」が44.2%で、次いで「弧なき特別に会社・学校から制度利用が認められた」が32.5%となっている。

【学校や仕事を休んで（欠席・有給休暇含む）活動をした理由】

N=131

	度数	%
制度がなかった	76	58.0
制度があるのか知らなかった	19	14.5
制度があることは知っていたが周囲の理解がなかった	3	22.9
制度があることは知っていたが利用できない基準や条件であった	26	19.8

- ・ 学校や仕事を休んで活動をした理由では、「制度がなかった」が58%で突出して高くなっている。

問 1 2 あなたが被災地でのボランティア活動に参加したいと考えた時、ボランティアバスがなかったら（または知らなかったときに）感じていた不安はどのようなことですか

N=544

	度数	%
活動に要する技術や知識	199	36.6
身近に相談できる人	26	4.8
現地の活動	274	50.4
事故など安全面	97	17.8
健康や体力面	61	11.2
一緒に活動できる仲間がいない	100	18.4
活動資金	120	22.1
宿泊の手配など	266	48.9
食事の心配	100	18.4
交通手段・移動時間など	405	74.4
現地の情報	276	50.7
周囲の理解が得られなかった	29	5.3
N A	15	2.8

- ・ ボランティアバスがなかったら感じていた不安としては、「交通手段・移動時間など」が74.4%で最も高く、次いで「現地の活動」50.4%、「宿泊の手配」48.9%、「現地の情報」50.7%となっている。
- ・ ボランティアバスがなかったら感じていた不安と性別、年齢、職業、そしてボランティアの参加頻度とのクロス表は次ページのようになっている。
 - ・ ポイントの高かった「交通手段・移動時間など」では、女性の割合が高く、年齢では10歳代、20歳代の割合が高くなっており、職業では学生と派遣社員（人数は少ないが。以下同）が高くなっている。
 - ・ 「現地の情報」では、年齢では40歳代、50歳代でやや高くなっており、職業では公務員、パート・アルバイト、派遣社員、無職でやや高くなっている。
 - ・ 「現地の活動」でも男女の差はなく、年齢では20歳代、50歳代、60歳代でやや高くなっており、職業では自営業者、パート・アルバイト、派遣社員、無職（家事専業）でやや高くなっている。

- ・「宿泊の手配」では、女性の割合が高く、年齢では10歳代、60歳代、70歳代で高くなっており、職業では学生、自営業者、無職（家事専業）で高くなっている。
- ・この他、「健康や体力面」は女性の割合が高く、年齢では60歳代、70歳代で高くなっており、職業では無職（家事専業）で高くなっている。
- ・「一緒に活動できる仲間がいない」では、女性の割合が高く、年齢では10歳代、20歳代で高くなっており、職業では学生、自営業者、派遣社員、無職（家事専業）、無職で高くなっている。また、ボランティア活動の参加経験「あり」の人では、全体平均との比較では顕著な傾向は認められない。

上段：度数 下段：%	合計 *=%縦	活動に 要する 技術や 知識	身近に 相談で きる人	現地の 活動	事故な ど安全 面	健康や 体力面	一緒に 活動で きる仲 間がい ない	活動資 金	宿泊の 手配な ど	食事の 心配	交通手 段・移 動時間 など	現地の 情報	周囲の 理解が 得られ なかつ た	
全 体	544 100.0	199 36.6	26 4.8	274 50.4	97 17.8	61 11.2	100 18.4	120 22.1	266 48.9	100 18.4	405 74.4	276 50.7	29 5.3	
性 別	男性	387 *71.1	131 33.9	14 3.6	194 50.1	63 16.3	37 9.6	64 16.5	87 22.5	180 46.5	75 19.4	272 70.3	190 49.1	17 4.4
	女性	154 *28.3	68 44.2	12 7.8	80 51.9	34 22.1	24 15.6	36 23.4	32 20.8	86 55.8	25 16.2	131 85.1	85 55.2	11 7.1
年 齢	10歳代	17 *3.1	9 52.9	1 5.9	6 35.3	3 17.6	3 35.3	6 17.6	3 58.8	10 17.6	3 70.6	12 47.1	8 11.8	2 4
	20歳代	91 *16.7	45 49.5	7 7.7	50 54.9	23 25.3	8 8.8	21 23.1	25 27.5	40 44.0	15 16.5	70 76.9	44 48.4	4 4.4
	30歳代	105 *19.3	37 35.2	4 3.8	44 41.9	17 16.2	11 10.5	18 17.1	23 21.9	52 49.5	14 13.3	77 73.3	52 49.5	8 7.6
	40歳代	111 *20.4	44 39.6	10 9.0	56 50.5	19 17.1	9 8.1	20 18.0	26 23.4	46 41.4	26 23.4	83 74.8	59 53.2	6 5.4
	50歳代	95 *17.5	23 24.2	2 2.1	54 56.8	18 18.9	11 11.6	14 14.7	15 15.8	46 48.4	12 12.6	78 82.1	53 55.8	1 1.1
	60歳代	107 *19.7	40 37.4	2 1.9	58 54.2	16 15.0	17 15.9	21 19.6	26 24.3	63 58.9	28 26.2	72 67.3	52 48.6	7 6.5
	70歳代	12 *2.2	1 8.3	0 0.0	4 33.3	1 8.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0	7 58.3	1 8.3	8 66.7	5 41.7	0 0.0
職 業	学生	55 *10.1	26 47.3	4 7.3	29 52.7	15 27.3	8 14.5	16 29.1	15 27.3	34 61.8	11 20.0	47 85.5	25 45.5	5 9.1
	会社員	115 *21.1	43 37.4	7 6.1	54 47.0	29 25.2	8 7.0	20 17.4	21 18.3	52 45.2	23 20.0	83 72.2	58 50.4	2 1.7
	公務員	114 *21.0	45 39.5	3 2.6	54 47.4	11 9.6	10 8.8	10 8.8	23 20.2	49 43.0	10 8.8	88 77.2	62 54.4	6 5.3
	自営業者	43 *7.9	11 25.6	4 9.3	23 53.5	6 14.0	5 11.6	10 23.3	8 18.6	28 65.1	15 34.9	31 72.1	23 53.5	3 7.0
	パート・ アルバイト	43 *7.9	15 34.9	1 2.3	24 55.8	5 11.6	5 11.6	4 9.3	9 20.9	18 41.9	6 14.0	32 74.4	16 37.2	0 0.0
	派遣社員	5 *0.9	4 80.0	1 20.0	4 80.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	3 60.0	3 60.0	1 20.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	11 39.3	1 3.6	16 57.1	9 32.1	8 28.6	9 32.1	8 28.6	18 64.3	10 35.7	20 71.4	14 50.0	6 21.4
	無職	90 *16.5	30 33.3	3 3.3	38 42.2	10 11.1	12 13.3	22 24.4	23 25.6	44 48.9	17 18.9	68 75.6	49 54.4	4 4.4
	その他	44 *8.1	11 25.0	2 4.5	29 65.9	10 22.7	3 6.8	7 15.9	10 22.7	18 40.9	5 11.4	29 65.9	24 54.5	2 4.5
	参 加 活 動 の 経 験	ある	293 *53.9	91 31.1	14 4.8	150 51.2	51 17.4	33 11.3	49 16.7	78 26.6	139 47.4	56 19.1	225 76.8	152 51.9
ない		247 *45.4	107 43.3	11 4.5	123 49.8	43 17.4	26 10.5	49 19.8	40 16.2	125 50.6	44 17.8	178 72.1	122 49.4	14 5.7

問 1 3 ボランティアバスに参加する・したことでどの問題に対し解消されましたか

N=544		
	度数	%
活動に要する技術や知識	140	25.7
身近に相談できる人	102	18.8
現地の活動	325	59.7
事故など安全面	239	43.9
健康や体力面	152	27.9
一緒に活動できる仲間がない	243	44.7
活動資金	231	42.5
宿泊の手配など	277	50.9
食事の心配	151	27.8
交通手段・移動時間など	425	78.1
現地の情報	292	53.7
周囲の理解が得られなかった	128	23.5
N A	19	3.5

- ・ボランティアバスに参加することで解消された不安は、「交通手段・移動時間」が78.1%で最も高く（問12の同項目は74.4%）、次いで「現地の活動」59.7%（同50.4%）、「宿泊の手配」50.9%（同48.9%）、「現地の情報」53.7%（同50.7%）となっており、不安について尋ねた問12の同項目より、それぞれ数ポイント高くなっている。
そして、とくに「一緒に活動できる仲間がない」に関する不安（問12）は18.4%であったが、その不安が解消されたとの回答は44.7%（同+26%）となっており、この点はボランティアバスの最大の「強み」だともいえる。
- ・ボランティアバスに参加することで解消された不安と性別、年齢、職業、そしてボランティアの参加頻度とのクロス表は次ページのようになっている。
 - ・ポイントの高い「交通手段・移動時間」では、女性の割合が高く、年齢では50歳代と60歳代でやや高くなっており、職業では学生と無職で高くなっている。
 - ・「現地の活動」でも女性の割合が高く、年齢では30歳代から50歳代でやや高くなっており、職業では会社員、自営業者、派遣社員（人数は少ないが。以下同）で高くなっている。
 - ・「宿泊の手配」では、女性の割合が高く、年齢では30歳代と70歳代、職業では派遣社員と無職（家事専業）で高くなっている。
 - ・「現地の情報」では、女性の割合が高く、年齢では50歳代、職業では会社員と派遣社員で高くなっている。
 - ・「一緒に活動できる仲間がない」では、女性がやや高く、年齢では70歳代、10歳代、30歳代高くなっており、職業では学生、無職（家事専業）、派遣社員で高くなっている。
 また、ボランティア活動の参加経験「あり」の人では、全体平均との比較では顕著な傾向は認められない。

上段：度数 下段：%		合計 *縦%	活動に 要する 技術や 知識	身近に 相談で きる人	現地の 活動	事故な ど安全 面	健康や 体力面	一緒に 活動で きる仲 間がい ない	活動資 金	宿泊の 手配な ど	食事の 心配	交通手 段・移 動時間 など	現地の 情報	周囲の 理解が 得られ なかつ た
全 体		544 100.0	140 25.7	102 18.8	325 59.7	239 43.9	152 27.9	243 44.7	231 42.5	277 50.9	151 27.8	425 78.1	292 53.7	128 23.5
性別	男性	387 *71.1	89 23.0	60 15.5	224 57.9	155 40.1	90 23.3	164 42.4	159 41.1	181 46.8	102 26.4	285 73.6	192 49.6	85 22.0
	女性	154 *28.3	51 33.1	42 27.3	100 64.9	84 54.5	62 40.3	78 50.6	72 46.8	94 61.0	49 31.8	138 89.6	99 64.3	42 27.3
年 齢	10歳代	17 *3.1	8 47.1	2 11.8	6 35.3	8 47.1	5 29.4	9 52.9	5 29.4	8 47.1	3 17.6	11 64.7	8 47.1	3 17.6
	20歳代	91 *16.7	39 42.9	18 19.8	44 48.4	36 39.6	28 30.8	43 47.3	46 50.5	45 49.5	25 27.5	68 74.7	42 46.2	19 20.9
	30歳代	105 *19.3	30 28.6	26 24.8	68 64.8	45 42.9	30 28.6	54 51.4	48 45.7	61 58.1	32 30.5	83 79.0	58 55.2	23 21.9
	40歳代	111 *20.4	26 23.4	18 16.2	68 61.3	41 36.9	22 19.8	40 36.0	45 40.5	49 44.1	28 25.2	83 74.8	64 57.7	23 20.7
	50歳代	95 *17.5	14 14.7	13 13.7	64 67.4	50 52.6	28 29.5	41 43.2	27 28.4	43 45.3	20 21.1	78 82.1	59 62.1	22 23.2
	60歳代	107 *19.7	22 20.6	21 19.6	66 61.7	54 50.5	36 33.6	47 43.9	55 51.4	59 55.1	39 36.4	90 84.1	55 51.4	33 30.8
	70歳代	12 *2.2	1 8.3	3 25.0	6 50.0	5 41.7	3 25.0	8 66.7	3 25.0	7 58.3	3 25.0	9 75.0	4 33.3	4 33.3
職 業	学生	55 *10.1	27 49.1	13 23.6	26 47.3	22 40.0	17 30.9	28 50.9	24 43.6	29 52.7	15 27.3	45 81.8	27 49.1	15 27.3
	会社員	115 *21.1	31 27.0	23 20.0	75 65.2	61 53.0	35 30.4	53 46.1	41 35.7	57 49.6	31 27.0	86 74.8	72 62.6	25 21.7
	公務員	114 *21.0	29 25.4	18 15.8	67 58.8	36 31.6	19 16.7	48 42.1	42 36.8	47 41.2	22 19.3	87 76.3	60 52.6	21 18.4
	自営業者	43 *7.9	7 16.3	5 11.6	30 69.8	17 39.5	9 20.9	18 41.9	17 39.5	23 53.5	15 34.9	34 79.1	19 44.2	9 20.9
	パート・ アルバイト	43 *7.9	8 18.6	5 11.6	23 53.5	18 41.9	15 34.9	15 34.9	21 48.8	24 55.8	14 32.6	32 74.4	17 39.5	7 16.3
	派遣社員	5 *0.9	3 60.0	3 60.0	4 80.0	4 80.0	3 60.0	4 80.0	3 60.0	4 80.0	3 60.0	4 80.0	4 80.0	3 60.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	6 21.4	10 35.7	18 64.3	19 67.9	16 57.1	15 53.6	17 60.7	18 64.3	11 39.3	20 71.4	14 50.0	13 46.4
	無職	90 *16.5	23 25.6	18 20.0	53 58.9	45 50.0	27 30.0	38 42.2	45 50.0	51 56.7	27 30.0	77 85.6	44 48.9	22 24.4
	その他	44 *8.1	6 13.6	6 13.6	26 59.1	16 36.4	10 22.7	19 43.2	18 40.9	20 45.5	10 22.7	35 79.5	33 75.0	12 27.3
	参 加 経 験 の	ある	293 *53.9	60 20.5	53 18.1	174 59.4	133 45.4	74 25.3	140 47.8	134 45.7	144 49.1	80 27.3	238 81.2	158 53.9
ない		247 *45.4	79 32.0	48 19.4	149 60.3	104 42.1	75 30.4	101 40.9	96 38.9	131 53.0	70 28.3	184 74.5	132 53.4	58 23.5

問 1 4 あなたは今回の震災ボランティア活動に参加して感じたことはどんなことですか

N=544		
	度数	%
被災地のために役立てた	198	36.4
被災地の現状を知ることができた	426	78.3
被災地の継続支援の必要性	397	73.0
思いやりの心が深まった	59	10.8
生活に充実感がうまれた	39	7.2
友人や知人を得ることができた	48	8.8
知識や技能が身に付いた	16	2.9
ものの見方や考え方が広がった	170	31.3
学校や職場で評価された	15	2.8
社会の課題に対する理解が深まった	70	12.9
大阪での災害に対する備えの必要性	116	21.3
その他	33	6.1
N A	3	0.6

- ・震災ボランティアに参加して感じたことは、「被災地の現状を知ることができた」が78.3%で、次いで「被災地の継続的支援の必要性」が73%、「被災地のために役立てた」36.4%、「ものの見方や考え方が広がった」が31.3%となっている。
- ・震災ボランティアに参加して感じたこと性別、年齢、職業、そしてボランティアの参加頻度とのクロス表は次ページのようにになっている。
 - ・まず、ポイントの高い「被災地の現状を知ることができた」では、年齢では20歳代、40歳代、50歳代でやや高く、職業では学生と会社員でやや高くなっている。
 - ・「被災地の継続的支援の必要性」では、女性の割合が高く、年齢では60歳代がやや高く、職業では派遣社員（人数は少ないが。以下同）と無職で高くなっている。
 - ・「被災地のために役立てた」では、男性の割合がやや高く、年齢では60歳代が最も高く70歳代、50歳でも高くなっており、職業では無職（家事専業）、自営業者、公務員で高くなっている。
 - ・「ものの見方や考え方が広がった」では、20歳代と30歳代で高く、職業では学生で高くなっている。
 - ・「大阪での災害に対する備えの必要性」では、女性でやや高く、年齢では70歳代で高くなっている。

上段：度数 下段：%	合計 *＝縦%	被災地 のために役立 てた	被災地 の現状を 知ることが できた	被災地 の継続の 必要性	思いや りの心が 深まった	生活に 充実感が うまれた	友人や 知人を 得ることが できた	知識や 技能が 身に付いた	もの の見方や 考え方が 広がった	学校や 職場で 評価され た	社会の 課題に 対する理 解が深ま った	大阪で の災害に 対する備 えの必要 性	その他	
全 体	544 100.0	198 36.4	426 78.3	397 73.0	59 10.8	39 7.2	48 8.8	16 2.9	170 31.3	15 2.8	70 12.9	116 21.3	33 6.1	
性別	男性	387 *71.1	157 40.6	303 78.3	268 69.3	41 10.6	31 8.0	28 7.2	12 3.1	119 30.7	8 2.1	51 13.2	75 19.4	23 5.9
	女性	154 *28.3	40 26.0	120 77.9	128 83.1	17 11.0	8 5.2	20 13.0	4 2.6	51 33.1	6 3.9	19 12.3	40 26.0	9 5.8
年 齢	10歳代	17 *3.1	6 35.3	13 76.5	11 64.7	3 17.6	1 5.9	2 11.8	1 5.9	6 35.3	2 11.8	2 11.8	2 11.8	0 0.0
	20歳代	91 *16.7	26 28.6	74 81.3	60 65.9	11 12.1	4 4.4	4 4.4	5 5.5	36 39.6	5 5.5	14 15.4	18 19.8	5 5.5
	30歳代	105 *19.3	31 29.5	77 73.3	78 74.3	11 10.5	12 11.4	13 12.4	1 1.0	39 37.1	1 1.0	12 11.4	24 22.9	4 3.8
	40歳代	111 *20.4	35 31.5	89 80.2	84 75.7	10 9.0	4 3.6	12 10.8	4 3.6	34 30.6	4 3.6	17 15.3	25 22.5	7 6.3
	50歳代	95 *17.5	38 40.0	79 83.2	67 70.5	7 7.4	8 8.4	11 11.6	4 4.2	32 33.7	0 0.0	10 10.5	22 23.2	6 6.3
	60歳代	107 *19.7	57 53.3	80 74.8	84 78.5	13 12.1	8 7.5	5 4.7	1 0.9	21 19.6	2 1.9	11 10.3	21 19.6	10 9.3
	70歳代	12 *2.2	5 41.7	8 66.7	7 58.3	2 16.7	1 8.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3	1 8.3	2 16.7	4 33.3	1 8.3
職 業	学生	55 *10.1	18 32.7	46 83.6	38 69.1	7 12.7	2 3.6	5 9.1	2 3.6	21 38.2	5 9.1	5 9.1	8 14.5	0 0.0
	会社員	115 *21.1	36 31.3	93 80.9	84 73.0	10 8.7	7 6.1	10 8.7	5 4.3	42 36.5	2 1.7	17 14.8	27 23.5	5 4.3
	公務員	114 *21.0	45 39.5	90 78.9	75 65.8	15 13.2	8 7.0	7 6.1	3 2.6	42 36.8	2 1.8	18 15.8	18 15.8	8 7.0
	自営業者	43 *7.9	20 46.5	35 81.4	33 76.7	2 4.7	3 7.0	6 14.0	0 0.0	11 25.6	1 2.3	1 2.3	10 23.3	3 7.0
	パート・ アルバイト	43 *7.9	12 27.9	31 72.1	34 79.1	6 14.0	4 9.3	5 11.6	1 2.3	11 25.6	1 2.3	5 11.6	10 23.3	4 9.3
	派遣社員	5 *0.9	1 20.0	4 80.0	5 100.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	0 0.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	14 50.0	22 78.6	23 82.1	7 25.0	2 7.1	3 10.7	0 0.0	6 21.4	1 3.6	2 7.1	5 17.9	0 0.0
	無職	90 *16.5	38 42.2	67 74.4	67 74.4	8 8.9	10 11.1	10 11.1	2 2.2	21 23.3	1 1.1	14 15.6	17 18.9	5 5.6
	その他	44 *8.1	12 27.3	32 72.7	33 75.0	4 9.1	1 2.3	1 2.3	2 4.5	11 25.0	2 4.5	8 18.2	19 43.2	8 18.2
	参 加 活 動 験 の	ある	293 *53.9	109 37.2	231 78.8	215 73.4	27 9.2	23 7.8	28 9.6	9 3.1	82 28.0	7 2.4	36 12.3	65 22.2
ない		247 *45.4	85 34.4	192 77.7	181 73.3	31 12.6	16 6.5	19 7.7	7 2.8	86 34.8	8 3.2	34 13.8	51 20.6	11 4.5

問 1 5 あなたは今回の震災ボランティア活動に参加後、家族・友人・知人などと話すなど現地の情報や被災地の体験を伝えましたか

N=544		
	度数	%
話した・発信した	514	94.5
話していない・発信していない	26	4.8
N A	4	0.7

問 1 5-① 「話した」「発信した」方は、それはなぜですか

N=544		
	度数	% (除 N A)
震災のあった地域に興味・関心をもってほしかった	262	48.2 (51.1)
ボランティアが足りない状況だったので活動者を増やしたかった	70	12.9 (13.6)
自己の経験を他者に伝えたかった	174	32.0 (33.9)
その他	41	7.5 (8.0)
N A	31	5.7

- ・活動を家族、知人、友人などにお話した人は94.5%となっており、その理由は、「災害のあった地域に興味・関心をもってほしかった」が48.2%となっている。
- ・なお、問15と性別、年齢、職業、そしてボランティアの参加頻度との間には顕著な傾向は認められなかった。
また、クロス表は割愛しているが、「災害のあった地域に興味・関心をもってほしかった」では女性で高い割合になっており、「自己の経験を他者に伝えたかった」では10歳代で高くなっている。

問 1 6 あなたがボランティアバスで一緒に活動した参加者同士で活動が終わった後に行なったことがあれば教えてください

N=544		
	度数	%
定期的に情報交換・連絡を取っている	121	22.2
他の被災地支援活動と一緒に参加した	76	14.0
災害ボランティア以外のボランティア活動と一緒に参加した	23	4.2
趣味・サークル活動などを一緒に参加・交流した	27	5.0
特に何もしていない	294	54.0
その他	56	10.3
N A	36	6.6

- ・ボランティアバスで一緒に活動した参加者同士で活動が終わった後に行なったことでは、「定期的に情報交換・連絡をとっている」が22.2%いるものの、「特になにもしていない」が54%となっている。
- ・なお、クロス表は割愛しているが、「定期的に情報交換・連絡をとっている」では、70歳代と30歳代が高く、職業では派遣社員と自営業者で高くなっている。また「他の被災地支援活動と一緒に参加した」では、40歳代でやや高くなっており、職業では自営業者で高くなっている。

問 17 今回のボランティアバスを経験した後のボランティア活動状況について教えてください

N=544		
	度数	%
ボランティア活動をした	269	49.4
していない	262	48.2
N A	13	2.4

問 17-① 「活動した」方は、どのような活動ですか

N=544		
	度数	%
再度被災地（東北方面）に行き活動を行った	119	21.9
他の被災地に行き活動を行った	105	19.3
地元でボランティア活動を行った	105	19.3
地元で地域活動に参加した	62	11.4
その他	12	2.2
N A	267	49.1

(除 N A)

- ・ボランティアバスを経験した後のボランティアの活動状況については、「ボランティア活動をした」が49.4%となっており、そのうち「再度被災地に行った」が21.9%、「他の被災地に行き活動を行った」と「地元でボランティア活動を行った」がともに19.3%となっている。
- ・また、クロス集計では表は割愛しているが、「ボランティア活動をした」では年齢では40歳代から70歳代で高くなっており、職業では自営業者、パート・アルバイト、派遣社員、無職（家事専業）、無職で高くなっている。

問 17-①-1 「再度被災地に行き活動を行った」「他の被災地に行き活動を行った」方は、どのような方法で参加しましたか

N=544		
	度数	%
ボランティアバス	118	21.7
個人で、または知人と現地に向かった	76	14.0
他のNPOなどの支援団体に合流した	36	6.6
その他	9	1.7
N A	359	66.0

(除 N A)

- ・再度被災地での活動をした人のうち「ボランティアバス」を利用したものは、21.7%となっており、「個人で、または知人と現地に向かった」は14.0%、「他のNPOなどの支援団体に合流した」が6.6%となっている。
- ・なお、各属性とのクロス集計では、クロス表は割愛しているが、「ボランティアバス」では、男女はなく、年齢では60歳代で最も高くなっており、次いで40歳代、50歳代となっている。平均値より10歳代から30歳代では低くなっている。

問 17-①-2 「地元でボランティア活動を行った」「地元で地域活動に参加した」方は、どのような活動ですか

N=544		
	度数	%
ボランティア活動に参加した	87	16.0
自治会やPTA活動、その他地域行事に関わるようになった	46	8.5
関西の避難者支援など災害に関するボランティア活動に参加した	33	6.1
義援金や支援金などの金銭や物資などの寄付をした	65	11.9
防災訓練に参加した	26	4.8
その他	14	2.6
N A	398	73.2

(除 N A)

・地元での活動では、「ボランティア活動に参加した」が16%、「義捐金や支援金などの金銭や物資などの寄付」が約11.9%、「自治会やPTA活動、その他地域行事に関るようになつた」が8.5%、「関西の避難者支援など災害に関するボランティア活動に参加した」が6.1%になっている。

・各属性とのクロス集計では、次のようになっている。

「ボランティア活動に参加した」では、男女差は特になく、年齢では10歳代、50歳代、70歳代で高くなっており、職業では学生、自営業者、無職（家事専業）、無職で高くなっている。

「義援金や支援金などの金銭や物資などの寄付をした」では、年齢では60歳代と70歳代で高くなっており、職業では自営業者と無職（家事専業）で高くなっている。

「自治会やPTA活動、その他地域行事に関わるようになった」では、男性の割合がやや高く、年齢では50歳代から70歳代で高くなっている。職業では自営業者、無職（家事専業）、無職で高くなっている。

「関西の避難者支援など災害に関するボランティア活動に参加した」では、女性の方がやや高く、年齢では70歳代、職業では自営業者で高くなっている。

上段：度数 下段：%	合計 *縦%	ボラン ティア活 動に参 加し た	自治会・ PTA・ 地域行 事に関 与	関西の 避難者 支援等 の災害 Vに参 加	義援金・ 支援金 や物資 等を寄 付した	防災訓 練に参 加し た	その他	
全 体	544 100.0	87 16.0	46 8.5	33 6.1	65 11.9	26 4.8	14 2.6	
性 別	男性	387 *71.1	59 15.2	35 9.0	18 4.7	42 10.9	21 5.4	8 2.1
	女性	154 *28.3	27 17.5	10 6.5	15 9.7	21 13.6	5 3.2	5 3.2
年 齢	10歳代	17 *3.1	5 29.4	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	20歳代	91 *16.7	10 11.0	5 5.5	2 2.2	5 5.5	0 0.0	2 2.2
	30歳代	105 *19.3	8 7.6	2 1.9	7 6.7	3 2.9	0 0.0	1 1.0
	40歳代	111 *20.4	14 12.6	7 6.3	6 5.4	11 9.9	4 3.6	3 2.7
	50歳代	95 *17.5	21 22.1	14 14.7	8 8.4	16 16.8	7 7.4	2 2.1
	60歳代	107 *19.7	20 18.7	13 12.1	8 7.5	22 20.6	9 8.4	6 5.6
	70歳代	12 *2.2	8 66.7	3 25.0	2 16.7	7 58.3	6 50.0	0 0.0
職 業	学生	55 *10.1	13 23.6	4 7.3	1 1.8	4 7.3	0 0.0	2 3.6
	会社員	115 *21.1	4 3.5	6 5.2	8 7.0	5 4.3	1 0.9	1 0.9
	公務員	114 *21.0	12 10.5	8 7.0	2 1.8	5 4.4	5 4.4	0 0.0
	自営業者	43 *7.9	12 27.9	5 11.6	7 16.3	11 25.6	5 11.6	4 9.3
	パート・ アルバイト	43 *7.9	4 9.3	2 4.7	5 11.6	5 11.6	1 2.3	1 2.3
	派遣社員	5 *0.9	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	10 35.7	4 14.3	2 7.1	9 32.1	3 10.7	0 0.0
	無職	90 *16.5	18 20.0	10 11.1	7 7.8	16 17.8	8 8.9	5 5.6
	その他	44 *8.1	10 22.7	6 13.6	1 2.3	10 22.7	2 4.5	1 2.3
	参 加活 動の 経験	ある	293 *53.9	78 26.6	43 14.7	25 8.5	55 18.8	24 8.2
ない	247 *45.4	9 3.6	3 1.2	8 3.2	10 4.0	1 0.4	3 1.2	

問 18 今後ボランティア活動に参加する意思はありますか

N=544

	度数	%
参加したい	487	89.5
参加したいができない	43	7.9
参加しない	8	1.5
N A	6	1.1

問 18-① 「参加したい」方は、主としてどのような活動に参加したいと思いますか

N=544

	度数	%	(除N A)
災害救援や被災者支援	443	81.4	(90.6)
まちづくり（美化・防犯・防災など）	169	31.1	(34.6)
社会福祉分野（高齢・障がい・児童やサロン活動など）	178	32.7	(36.4)
保健・医療分野（病院ボランティアなど）	55	10.1	(11.2)
自然保護（地域清掃・里山保全など）	174	32.0	(35.6)
青少年活動（キャンプ・体験活動の支援など）	64	11.8	(13.1)
国際交流・国際協力（通訳・生活支援・交流会など）	86	15.8	(17.6)
スポーツ振興（イベント補助など）	102	18.8	(20.9)
文化（文化保存・伝承に関わる活動など）	84	15.4	(17.2)
募金活動、チャリティバザー	80	14.7	(16.4)
ボランティアを支援する事務的な活動	60	11.0	(12.3)
その他	22	4.0	(4.5)
N A	55	10.1	

- ・今後のボランティア活動への参加の意思は、約90%の人は「ある」と答えている。
また、具体的な活動としては、「災害支援や被災者支援」が約81%と突出して高くなっている。次いで、30%台の項目としては、社会福祉分野、自然保護、まちづくりとなっている。
- ・基本属性とのクロス集計では、今後のボランティアに「参加したい」では、年齢では10歳代と40歳代で、職業では公務員でやや高くなっている。
また、参加した活動のうちポイントの高かった「災害救援や被災者支援」では、年齢では40歳代と50歳代で高く、職業では公務員で高くなっている。

問 18-② 「参加したい」「参加したいができない」方は、どのような働き掛けがあれば参加しやすいと思いますか

N=544

	度数	%	(除N A)
一般のボランティアの紹介	208	38.2	(44.9)
災害・被災地支援に関するボランティアの紹介	324	59.6	(70.0)
HPやメールによるイベントなどの情報提供	191	35.1	(41.3)
ボランティア活動者の交流会	89	16.4	(19.2)
ボランティア養成講座などの紹介	83	15.3	(17.9)
参加しやすい活動時間のプログラム提供	185	34.0	(40.0)
その他	24	4.4	(5.2)
N A	81	14.9	

- ・参加を促す働きかけとしては「災害・被災地支援に関するボランティア紹介」が59.6%と高く、次いで「一般ボランティアの紹介」38.2%、「HPやメールによるイベントなどの情報提供」35.1%となっている。
また、基本属性とのクロス集計のクロス表は割愛するが、「災害・被災地支援に関するボランティアの紹介」では、年齢では50歳代、職業では学生で高くなっている。

問 18-③ 「参加したいができない」「参加しない」方は、それはなぜですか

N=544		
	度数	% (除NA)
身近に参加できる活動がない	10	1.8 (16.4)
研修や講座を受ける機会がない	2	0.4 (3.3)
参加する時間がない	38	7.0 (62.3)
ボランティアグループの実態がわからない	9	1.7 (14.8)
どんなボランティアがあるかわからない	10	1.8 (16.4)
資金的・物的負担がかかる恐れがある	13	2.4 (21.3)
事故などへの制度的保障が小さい	0	0.0 (0.0)
健康や体力に自信がない	8	1.5 (13.1)
ボランティア活動に自分自身がなじまないと感じる	2	0.4 (3.3)
関心がない	0	0.0 (0.0)
その他	12	2.2 (19.7)
NA	483	88.8

- ・参加できない理由としては、「時間がない」が7.0%となっており、次いで「金銭的・物的負担がかかる恐れがある」が2.4%、「身近に参加できる活動がない」、「どんなボランティアがあるかわからない」がともに1.5%となっている。
- ・なお、「時間がない」との回答は、年齢では20歳代、職業では派遣社員、自営業者、学生、無職（家事専業）で高くなっている。

問 19 今後、ボランティアセンターへどのような役割を期待しますか

N=544		
	度数	%
活動に関する情報提供や広報・ボランティア参加への呼びかけ	433	79.6
人材育成・研修	125	23.0
活動場所の提供・拠点づくり	256	47.1
ボランティア保険の掛金助成	25	4.6
活動資金助成の充実	66	12.1
ボランティアニーズの把握	155	28.5
ボランティアのコーディネート・マッチング	208	38.2
災害時にむけた基盤整備（機能強化・災害用備品）	136	25.0
その他	8	1.5
NA	12	2.2

- ・今後、ボランティアセンターに期待することでは、「活動に関する情報提供や広報・ボランティア参加への呼びかけ」が79.6%で突出して高く、次いで「活動場所の提供・拠点づくり」が47.1%、「ボランティアコーディネート・マッチング」が38.2%となっている。
- ・また、ボランティアセンターに期待すること性別、年齢、職業、ボランティア活動の参加経験とのクロス集計は、次ページのようになっている。
 - ・ポイントの高い「活動に関する情報提供や広報・ボランティア参加への呼びかけ」では、年齢では20歳代と50歳代、職業では学生で高くなっている。
 - ・「活動場所の提供・拠点づくり」では、年齢では50歳代、職業では公務員で高くなっている。
 - ・「ボランティアコーディネート・マッチング」では、年齢では30歳代と40歳代で高く、職業では自営業者で高くなっている。

上段：度数 下段：%	合計 *縦%	情報提供 や広報・ 参加への 呼びかけ	人材育成 ・研修	活動場所 の提供・ 拠点づく り	ボランテ ィア保険 の掛金助 成	活動資金 助成の充 実	ボランテ ィアニー ズの把握	Vのコー ディネー ト・マッ チング	災害時に むけた基 盤整備	その他	
全 体	544 100.0	433 79.6	125 23.0	256 47.1	25 4.6	66 12.1	155 28.5	208 38.2	136 25.0	8 1.5	
性 別	男性	387 *71.1	307 79.3	96 24.8	186 48.1	20 5.2	48 12.4	108 27.9	147 38.0	90 23.3	7 1.8
	女性	154 *28.3	124 80.5	28 18.2	70 45.5	5 3.2	18 11.7	47 30.5	61 39.6	46 29.9	0 0.0
年 齢	10歳代	17 *3.1	13 76.5	3 17.6	8 47.1	0 0.0	0 0.0	5 29.4	3 17.6	2 11.8	1 5.9
	20歳代	91 *16.7	76 83.5	18 19.8	42 46.2	3 3.3	11 12.1	24 26.4	33 36.3	22 24.2	0 0.0
	30歳代	105 *19.3	79 75.2	22 21.0	43 41.0	3 2.9	14 13.3	36 34.3	51 48.6	30 28.6	0 0.0
	40歳代	111 *20.4	83 74.8	30 27.0	55 49.5	5 4.5	13 11.7	27 24.3	49 44.1	32 28.8	3 2.7
	50歳代	95 *17.5	81 85.3	20 21.1	50 52.6	6 6.3	12 12.6	24 25.3	37 38.9	25 26.3	1 1.1
	60歳代	107 *19.7	87 81.3	27 25.2	51 47.7	5 4.7	11 10.3	34 31.8	31 29.0	20 18.7	3 2.8
	70歳代	12 *2.2	9 75.0	5 41.7	4 33.3	2 16.7	4 33.3	4 33.3	3 25.0	3 25.0	0 0.0
職 業	学生	55 *10.1	46 83.6	9 16.4	26 47.3	2 3.6	5 9.1	14 25.5	21 38.2	13 23.6	1 1.8
	会社員	115 *21.1	94 81.7	25 21.7	56 48.7	6 5.2	17 14.8	32 27.8	47 40.9	34 29.6	1 0.9
	公務員	114 *21.0	91 79.8	25 21.9	60 52.6	6 5.3	6 5.3	32 28.1	47 41.2	21 18.4	1 0.9
	自営業者	43 *7.9	35 81.4	11 25.6	18 41.9	1 2.3	6 14.0	13 30.2	19 44.2	11 25.6	0 0.0
	パート・ アルバイト	43 *7.9	33 76.7	10 23.3	22 51.2	1 2.3	6 14.0	17 39.5	13 30.2	12 27.9	0 0.0
	派遣社員	5 *0.9	4 80.0	1 20.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	0 0.0
	無職 (家事専業)	28 *5.1	19 67.9	5 17.9	7 25.0	1 3.6	5 17.9	8 28.6	6 21.4	5 17.9	0 0.0
	無職	90 *16.5	72 80.0	18 20.0	41 45.6	4 4.4	15 16.7	24 26.7	34 37.8	21 23.3	3 3.3
	その他	44 *8.1	33 75.0	19 43.2	20 45.5	4 9.1	5 11.4	12 27.3	16 36.4	15 34.1	2 4.5
	参 加 活 動 経 験 の	ある	293 *53.9	231 78.8	74 25.3	134 45.7	18 6.1	38 13.0	90 30.7	119 40.6	74 25.3
ない		247 *45.4	200 81.0	49 19.8	122 49.4	6 2.4	27 10.9	64 25.9	89 36.0	62 25.1	2 0.8

問20 その他、今後社会福祉協議会に期待すること、ボランティア活動や災害ボランティアバスに関することなどご意見がありましたらご記入ください

N=544

	度数	%
記入あり	266	48.9
記入なし	278	51.1

【自由記述一覧（一部抜粋）】

- ・ボランティアバスのおかげで、被災地へ行くことができ、ボランティア活動のきっかけを頂きました。ありがとうございました。
- ・万全な下調べの上で、人員（ボランティア参加有）をバスにて現地へ送迎するという段取りの良さに関心致しました。ただ交通時間がかなり掛かり、活動そのものよりも移動が体にこたえたという感がありました。
- ・ボランティアバス等の募集条件については、住所地、勤務地となっているが、条件に該当しない人でも参加出来る枠を作ってほしい。
- ・今回のボランティアでは大変お世話になりありがとうございました。勉強不足で今回活動に参加するまで、社会福祉協議会の事は全く知りませんでした。その後様々な活動をされていることを知りました。私のようにそういった素晴らしい活動について知らない人も多いことと思いますので、今後、活動について広く情報を発信し、ボランティアのすそ野を広げるべく、ますます活発にご活動されることをお祈り致します。また何か私にできることがありましたら微力ながらお手伝いしたいと思います。
- ・社協の方は本当によくやっています。感謝しています。色々、ご多忙だと思いますが、ボラバスの回数等を増加していただければと思います（色々な形もあると思いますし）。
- ・把握不足ならすみません。今回のボランティアバスが1回だけで終わっているなら社協の実績づくりの様に感じるので予算等の問題もあるでしょうが継続した東北支援バスを実施した方がいいと思います。とても良い経験ができたので1回で終わっていただけるといいです。
- ・仕事をしながらのボランティアの活動には、参加しやすくとても助かります。ありがたいです。これからもよろしくお願い致します。
- ・多くの情報を発信し、たくさんの方に興味をもってもらえるような広報を期待します。
- ・社協だからこそできる活動があると思います。既存のものに捉われることなく、本来の活動を見直して頑張っていただけだと嬉しいです。
- ・ボランティアに参加しやすい日程の組み方を考えてほしいと思う。（遠方での活動しやすいように週末を含めた日程の企画）
- ・ボランティアバスは多くの知識・経験を持たれている社協の方々やコーディネーター、そして私たちに対する配慮も下さって、本当に安心してボランティアさせて頂いたと感謝しています。おかげさまで、被災地のことを、自分1人でいくよりも何倍も広く、かいま見ることができたと思います。ありがとうございました。
- ・来年も東北へのボラバスを是非、企画してほしい。復旧でなく、これからは復興のボランティアもしたいと考えています。
- ・①ボランティアをしてみたいという若者がいない。②例えば小学生であれば地域の人・父兄の手助けが多くて、自主性が生まれにくい。してもらって当たり前で育っているため、ボランティアまで行きつけない世代だと思います。小学生の時からボランティアを教えるべきだと思います。
- ・永続的な活動支援をお願いします。被災地はこれからも生まれるし、ボランティア活動者も生まれます。両方をつなげる役割をこれからも果たして下さい。

(参考)

東日本大震災ボランティアバス参加者を対象とした実態調査

あなたのことについてお聞きします

下記基本事項について当てはまるものに○をつけてください

(ボランティアバス参加時点でお答えください。複数回参加の場合は最後の参加時点)。

問1 性別 1 男性 2 女性

問2 年齢 () 歳

問3 職業

1 学生	6 派遣社員
2 会社員	7 無職(家事専業)
3 公務員	8 無職(7以外)
4 自営業者	9 その他()
5 パート・アルバイト	

→1の学生と答えた方にお聞きします(1つに○)。

1 高校生	3 短大生	5 大学院生
2 専門学校生	4 大学生	

普段のボランティア活動の状況についてお聞きします

問4 今回のボランティアバス参加時点までにボランティア活動に参加したことがありますか(1つに○)。

1 ある	→下記 4-① 、 4-② を回答後、 問5 へお進みください
2 ない	→ 問8 へお進みください

4-① 活動内容について下記の中から選択してください(該当するもの全てに○)。

- 1 災害救援や被災者支援
- 2 まちづくり(美化・防犯・防災など)
- 3 社会福祉分野(高齢・障がい・児童やサロン活動など)
- 4 保健・医療分野(病院ボランティアなど)
- 5 自然保護(地域清掃・里山保全など)
- 6 青少年活動(キャンプ・体験活動の支援など)
- 7 国際交流・国際協力(通訳・生活支援・交流会など)
- 8 スポーツ振興(イベント補助など)
- 9 文化(文化保存・伝承に関わる活動など)
- 10 募金活動、チャリティバザー
- 11 ボランティアを支援する事務的な活動
- 12 その他 [具体的に:]

問7 普段どのような方法でボランティアに参加する時間をつくっていますか
(該当するものに○)。

- 1 学校や仕事を休んで (欠席・有給休暇含む)
- 2 土日や祝日など休みを利用
- 3 長期休暇を利用
- 4 空いた時間を利用
- 5 その他 [具体的に :]

今回の災害ボランティアバス参加前のことについてお聞きします

問8 ボランティアバスを企画した社会福祉協議会についてどの程度知っていましたか。

- 1 全く知らなかった
- 2 名前は知っていたがどのような活動をしているか知らなかった
- 3 イベント・広報誌・ボランティア活動などを通じて知っていた
- 4 社会福祉協議会の活動に携わっていた

問9 被災地ボランティア活動に参加しようとした動機は何ですか (3つまでに○)。

- 1 何か役に立ちたいと思ったから
- 2 募集されていることを知ったから
- 3 新しい出会い・経験がほしかったから
- 4 マスコミの報道に刺激されたから
- 5 自分自身の勉強になる・将来の役に立つと思ったから
- 6 その土地、現地に愛着があったから
- 7 以前住んでいたから
- 8 被災地に親類、友人、知人がいるから
- 9 資格をいかした活動がしたかったから
- 10 他の人や団体から勧められたから
- 11 時間が空いていたから
- 12 その他 (具体的に :)

問 1 0 今回のボランティアバスの情報はどのようにして得ましたか（いくつでも）。

1	インターネットで調べた・・・以下から選択して○で囲んでください。
	①ブログ②ツイッター③ミクシィ④フェイスブック
	⑤社会福祉協議会のホームページ（HP）⑥ボランティア支援団体のHP
	⑦その他[具体的に：]
2	市町村のボランティアセンターから紹介
3	都道府県のボランティアセンターから紹介
4	行政から紹介
5	家族から聞いた
6	友人・知人から聞いた
7	TV
8	ラジオ
9	新聞
1 0	行政・社協などの広報誌
1 1	メールマガジン[具体的に：]
1 2	その他 [具体的に：]

問 1 1 どのような方法で今回のボランティアに参加する時間を作りましたか（該当するものに○）。

1	ボランティア休暇を利用した	} 1 1 - ① へ お進みください
2	特別に出勤・公欠扱い（または単位認定）になった	
3	学校や仕事を休んで（欠席・有給休暇含む）	→ 1 1 - ② へお進みください
4	土日や祝日など休みを利用した	
5	長期休暇を利用した	
6	空いた時間を利用した	
7	その他 [具体的に：]	

1 1 - ①

1、2と答えた方

1	普段から会社・学校から制度利用の奨励や紹介があった
2	今回特別に会社・学校から制度利用が認められた
3	制度があることを知っていたので利用した
4	その他[具体的に：]

1 1 - ②

3と答えた方

1	制度がなかった
2	制度があるのか知らなかった
3	制度があることは知っていたが周囲の理解がなかった
4	制度があることは知っていたが利用できない基準や条件であった
	[具体的に：]

問 1 2 あなたが被災地でのボランティア活動に参加したいと考えた時、ボランティアバスがなかったら（または知らなかったときに）感じていた不安はどのようなことですか。（下記表の中から該当するものうち上位3つまでに○）。

問 1 3 Vバスに参加する・したことでどの問題に対し解消されましたか（下記表の中から該当するもの全てに○）。

2	Vバスがなかったら感じていた不安	問13	Vバスに参加する・したことで解消されたこと
①	活動に要する技術や知識		① 技術や知識などを学ぶことができた
②	身近に相談できる人		② 疑問や不安を相談できたので安心した
③	現地の活動		③ 活動のコーディネーターがあるので安心した
④	事故など安全面		④ 安全面に配慮や情報提供があった・あると感じた
⑤	健康や体力面		⑤ 健康や体力面に配慮があった・あると感じた
⑥	一緒に活動できる仲間がいない		⑥ グループで活動できた、仲間ができた
⑦	活動資金		⑦ 活動資金がかからなかった・事前にいくら必要かわかった
⑧	宿泊の手配など		⑧ 宿泊先を手配してもらえた
⑨	食事の心配		⑨ 食事に関する情報があつた
⑩	交通手段・移動時間など		⑩ バスで移動できた
⑪	現地の情報		⑪ 現地の情報を提供してもらえた
⑫	周囲の理解が得られなかった		⑫ 募集や企画の状況を説明し理解が得られた

ボランティアバス参加後のことについてお聞きします

問 1 4 あなたは今回の震災ボランティア活動に参加して感じたことはどんなことですか（上位3つに○）。

1	被災地のために役立てた	8	ものの見方や考え方が広がった
2	被災地の現状を知ることができた	9	学校や職場で評価された
3	被災地の継続支援の必要性	10	社会の課題に対する理解が深まった
4	思いやりの心が深まった	11	大阪での災害に対する備えの必要性
5	生活に充実感がうまれた	12	その他
6	友人や知人を得ることができた	（ 具体的に： ）	
7	知識や技能が身に付いた		

問 1 5 あなたは今回の震災ボランティア活動に参加後、家族・友人・知人などと話すなど現地の情報や被災地の体験を伝えましたか。（1つに○）。

1	話した・ブログなどで発信をした	→ 15-①にお答えください
2	話していない・ブログなどで発信をしていない	→ 問16にお進みください

15-① 「話した」「発信した」を選んだ方 それはなぜですか（1つに○）。

- 1 震災のあった地域に興味・関心をもってほしかった
- 2 ボランティアが足りない状況だったので活動者を増やしたかった
- 3 自己の経験を他者に伝えたかった
- 4 その他 [具体的に：]

問16 あなたがボランティアバスと一緒に活動した参加者同士で活動が終わった後に行なったことがあれば教えてください（いくつでも）

- 1 定期的に情報交換・連絡を取っている
- 2 他の被災地支援活動と一緒に参加した
- 3 災害ボランティア以外のボランティア活動と一緒に参加した
- 4 趣味・サークル活動などを一緒に参加・交流した
- 5 特に何もしていない
- 6 その他 [具体的に：]

問17 今回のボランティアバスを経験した後のボランティア活動状況について教えてください（1つに○）。

- 1 活動した → 下記①にお進みください
- 2 活動していない → 問18へ

① → 「活動した」を選択した方 活動について（該当するもの全てに○）。

- 1 再度被災地（東北方面）に行き活動を行った } ①-1に
- 2 他の被災地に行き活動を行った } お進みください
- 3 地元でボランティア活動を行った } ①-2に
- 4 地元で地域活動に参加した } お進みください
- 5 その他 [具体的に：]

①-1 「再度被災地に行き活動を行った」「他の被災地に行き活動を行った」を選択した方 活動参加方法（該当するもの全てに○）。

- 1 ボランティアバス
- 2 個人で、または知人と現地に向かった
- 3 他のNPOなどの支援団体に合流した
- 4 その他 [具体的に：]

①-2 「地元でボランティア活動を行った」「地元で地域活動に参加した」を選択した方（該当するもの全てに○）。

- 1 ボランティア活動に参加した
- 2 自治会やPTA活動、その他地域行事に関わるようになった
- 3 関西の避難者支援など災害に関するボランティア活動に参加した
- 4 義援金や支援金などの金銭や物資などの寄付をした
- 5 防災訓練に参加した
- 6 その他 [具体的に：]

問18 今後ボランティア活動に参加する意思はありますか（1つに○）。

- 1 参加したい → ①、②にお答えください
- 2 参加したいができない → ②、③にお答えください
- 3 参加しない → ③にお答えください

① 1の「参加したい」を選択した方どのような活動に主として参加したと思いますか（該当するもの全てに○）。

- 1 災害救援や被災者支援
- 2 まちづくり（美化・防犯・防災など）
- 3 社会福祉分野（高齢・障がい・児童やサロン活動など）
- 4 保健・医療分野（病院ボランティアなど）
- 5 自然保護（地域清掃・里山保全など）
- 6 青少年活動（キャンプ・体験活動の支援など）
- 7 国際交流・国際協力（通訳・生活支援・交流会など）
- 8 スポーツ振興（イベント補助など）
- 9 文化（文化保存・伝承に関わる活動など）
- 10 募金活動、チャリティバザー
- 11 ボランティアを支援する事務的な活動
- 12 その他 [具体的に：]

② 1「参加したい」、2「参加したいができない」と答えた方へどのような働き掛けがあれば参加しやすいと思いますか（該当するもの全てに○）。

- 1 一般のボランティアの紹介
- 2 災害・被災地支援に関するボランティアの紹介
- 3 HPやメールによるイベントなどの情報提供
- 4 ボランティア活動者の交流会
- 5 ボランティア養成講座などの紹介
- 6 参加しやすい活動時間のプログラム提供
- 7 その他 [具体的に：]

③ 2「参加したいができない」、3「参加しない」を選択した方
それはなぜですか。（該当するもの全てに○）。

- | | |
|----|-------------------------|
| 1 | 身近に参加できる活動がない |
| 2 | 研修や講座を受ける機会がない |
| 3 | 参加する時間がない |
| 4 | ボランティアグループの実態がわからない |
| 5 | どんなボランティアがあるかわからない |
| 6 | 資金的・物的負担がかかる恐れがある |
| 7 | 事故などへの制度的保障が小さい |
| 8 | 健康や体力に自信がない |
| 9 | ボランティア活動に自分自身がなじまないと感じる |
| 10 | 関心がない |
| 11 | その他 [具体的に：] |

問19 今後、ボランティアセンターへどのような役割を期待しますか（3つまでに○）

- | | |
|---|------------------------------|
| 1 | 活動に関する情報提供や広報・ボランティア参加への呼びかけ |
| 2 | 人材育成・研修 |
| 3 | 活動場所の提供・拠点づくり |
| 4 | ボランティア保険の掛金助成 |
| 5 | 活動資金助成の充実 |
| 6 | ボランティアニーズの把握 |
| 7 | ボランティアのコーディネート・マッチング |
| 8 | 災害時にむけた基盤整備（機能強化・災害用備品） |
| 9 | その他 [具体的に：] |

問20 その他、今後社会福祉協議会に期待すること、ボランティア活動や災害ボランティアバスに関することなどご意見がありましたらご記入ください

[]

調査にご協力いただき、ありがとうございました。